

(冊子イメージ)

# 川西市国民健康保険 第2期データヘルス計画書

XXXX年XX月  
川西市



# 第1章 第2期データヘルス計画

# 1. 計画策定について

## (1) 計画の目的

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」の施策方針に基づき、医療及び健診データ等の分析を行い、加入者の健康保持増進におけるP D C Aサイクルに沿った効果的な保健事業を実施するためにデータヘルス計画を策定する。

## (2) 計画の期間

平成30年4月1日～平成35年3月31日まで

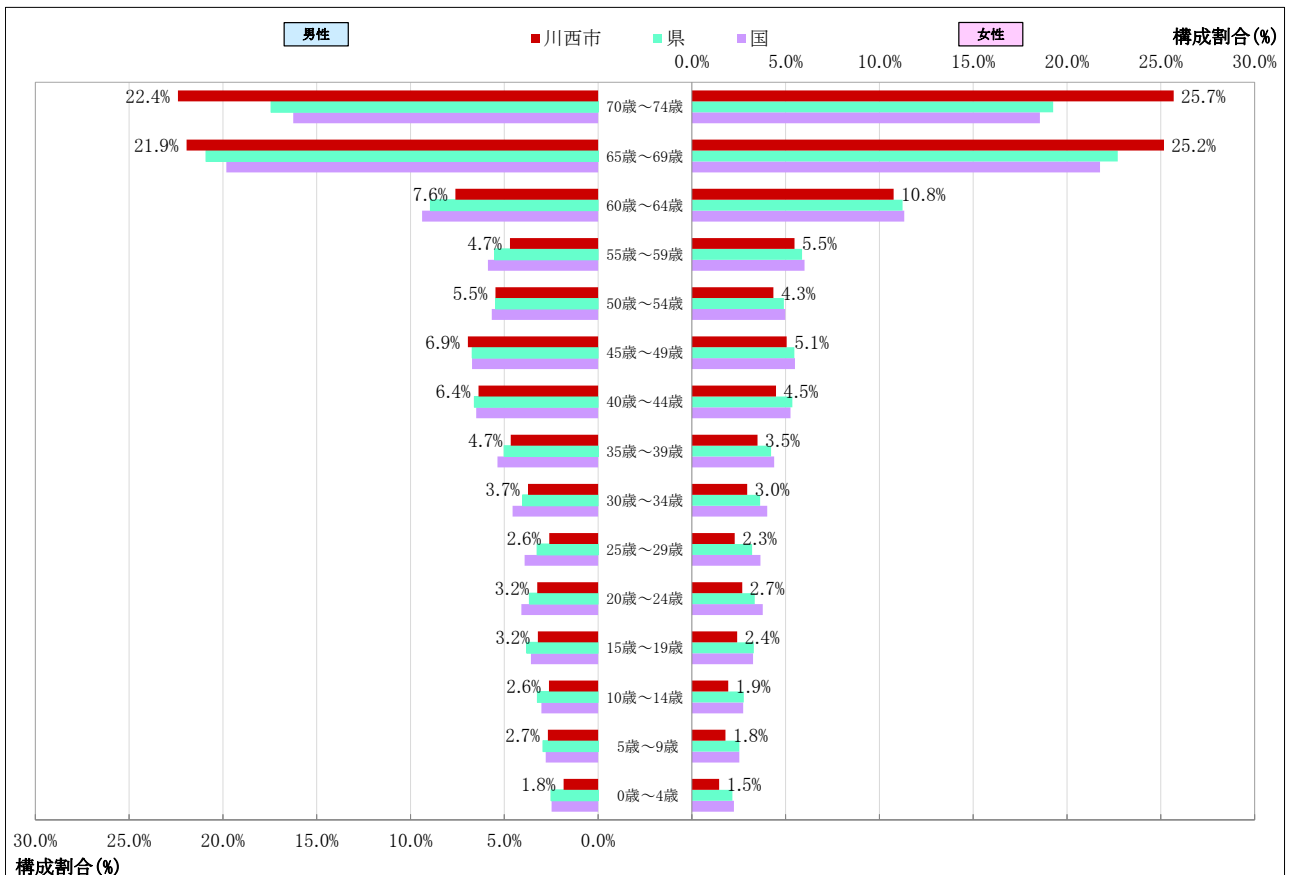
## (3) 川西国保の状況

### 【市の概況】

	川西市	県
人口	159,610人	5,534,800人
高齢化率	30.1%	26.8%
国保加入率	23.3%	22.92%
国保構成割合(40～64歳)	30.5%	31.98%
国保構成割合(65～74歳)	47.6%	42.70%

平成29年3月末現在（県の数値は推計）

### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

#### (4) 介護保険の状況

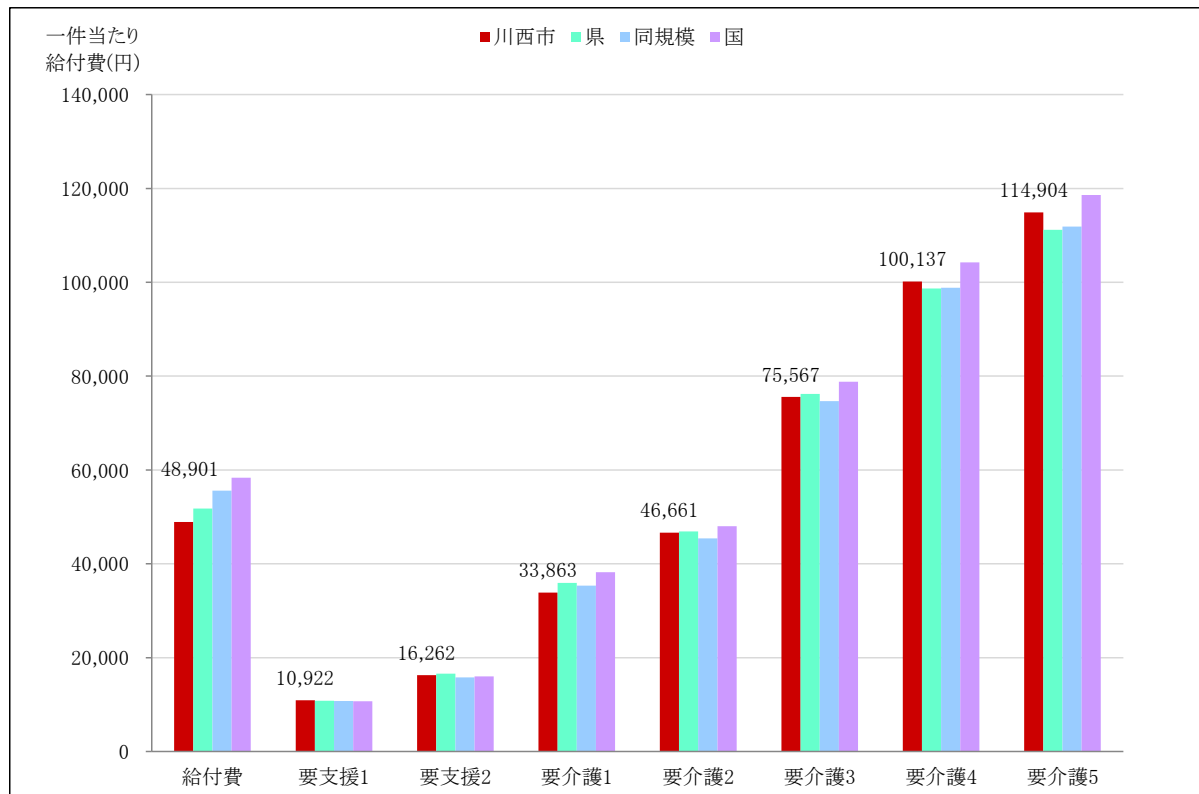
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。川西市の認定率は同規模自治体よりも上回っているが、県の数値を下回っている。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	川西市	県	同規模	国
認定率	21.2%	22.5%	21.0%	21.2%
認定者数(人)	8,893	214,190	535,336	6,034,085
第1号(65歳以上)	8,686	209,035	520,867	5,882,340
第2号(40～64歳)	207	5,155	14,469	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	48,901	51,789	55,577	58,349
要支援1	10,922	10,841	10,785	10,730
要支援2	16,262	16,597	15,820	15,996
要介護1	33,863	35,954	35,347	38,200
要介護2	46,661	46,885	45,420	48,047
要介護3	75,567	76,185	74,655	78,791
要介護4	100,137	98,686	98,845	104,264
要介護5	114,904	111,174	111,872	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

また本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。認定者は平均3.1疾病を有していることがわかる。特に上位3項目の心臓病、筋・骨格、高血圧症の有病率が高くなっている。

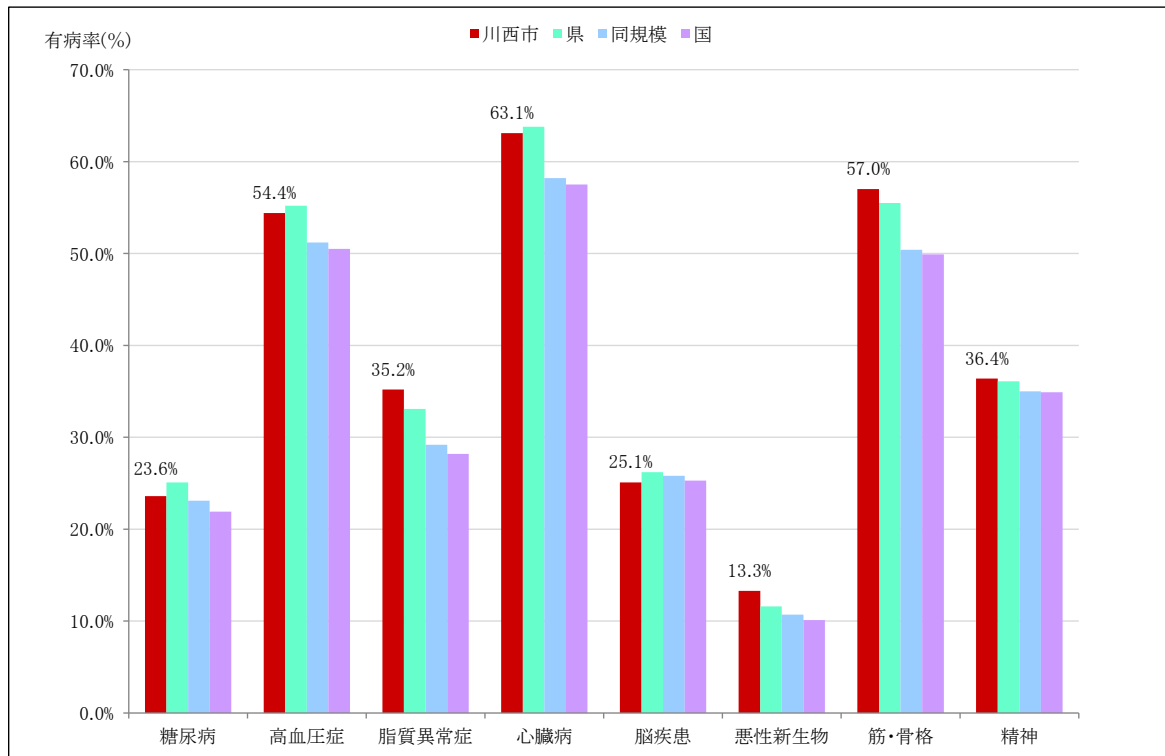
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	川西市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	8,893		214,190		535,336		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	2,117	54,186	7	126,197	7	1,343,240	7
	有病率	23.6%	25.1%		23.1%		21.9%	
高血圧症	実人数(人)	4,835	118,818	3	279,758	2	3,085,109	2
	有病率	54.4%	55.2%		51.2%		50.5%	
脂質異常症	実人数(人)	3,121	71,405	5	160,573	5	1,733,323	5
	有病率	35.2%	33.1%		29.2%		28.2%	
心臓病	実人数(人)	5,619	136,956	1	317,770	1	3,511,354	1
	有病率	63.1%	63.8%		58.2%		57.5%	
脳疾患	実人数(人)	2,254	55,972	6	139,754	6	1,530,506	6
	有病率	25.1%	26.2%		25.8%		25.3%	
悪性新生物	実人数(人)	1,197	25,301	8	58,739	8	629,053	8
	有病率	13.3%	11.6%		10.7%		10.1%	
筋・骨格	実人数(人)	5,076	119,394	2	275,277	3	3,051,816	3
	有病率	57.0%	55.5%		50.4%		49.9%	
精神	実人数(人)	3,259	78,038	4	192,433	4	2,141,880	4
	有病率	36.4%	36.1%		35.0%		34.9%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

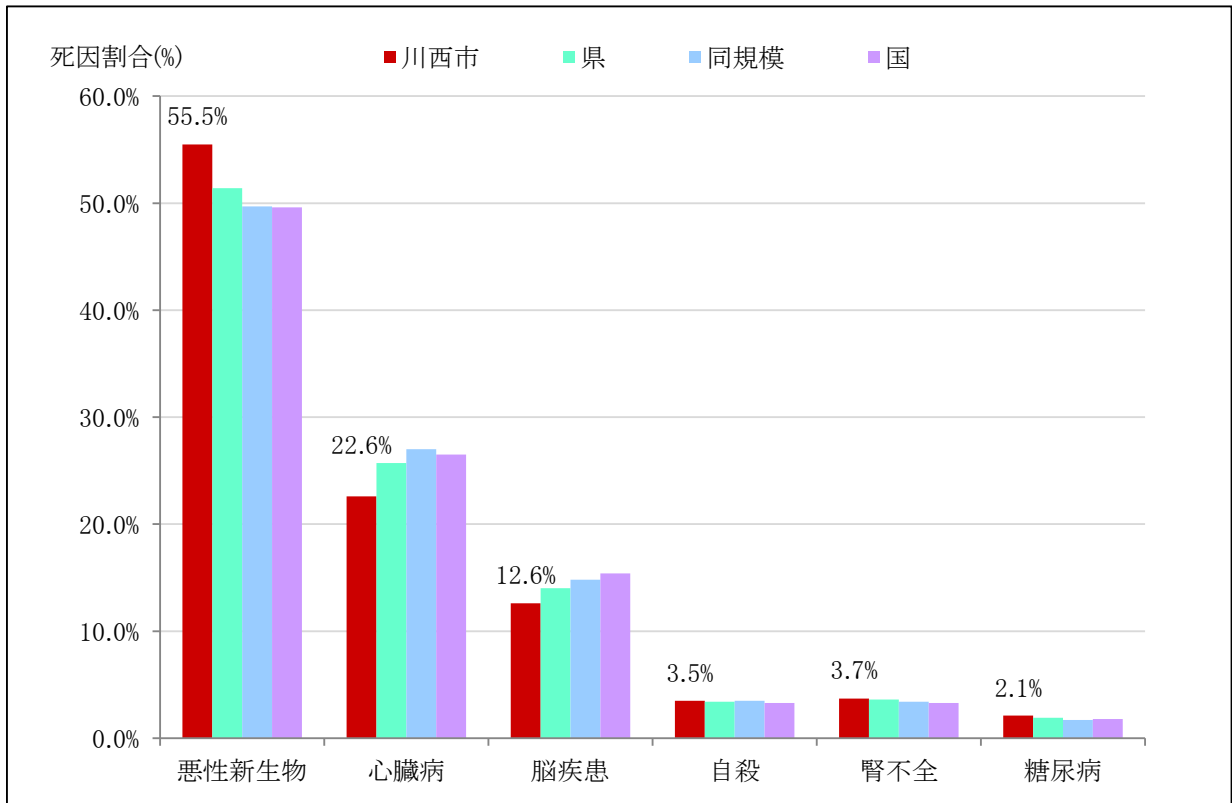
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。悪性新生物、心臓病、脳疾患、自殺、腎不全、糖尿病の中で見た際、悪性新生物が群を抜いて多くなっている。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	川西市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	448	55.5%	51.4%	49.7%	49.6%
心臓病	182	22.6%	25.7%	27.0%	26.5%
脳疾患	102	12.6%	14.0%	14.8%	15.4%
自殺	28	3.5%	3.4%	3.5%	3.3%
腎不全	30	3.7%	3.6%	3.4%	3.3%
糖尿病	17	2.1%	1.9%	1.7%	1.8%
合計	807				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 各課題における現状分析と考察・評価

第1期データヘルス計画において、分析結果より判明した課題を以下に再掲し、それぞれの課題に対して過去の取り組みを考察する。なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

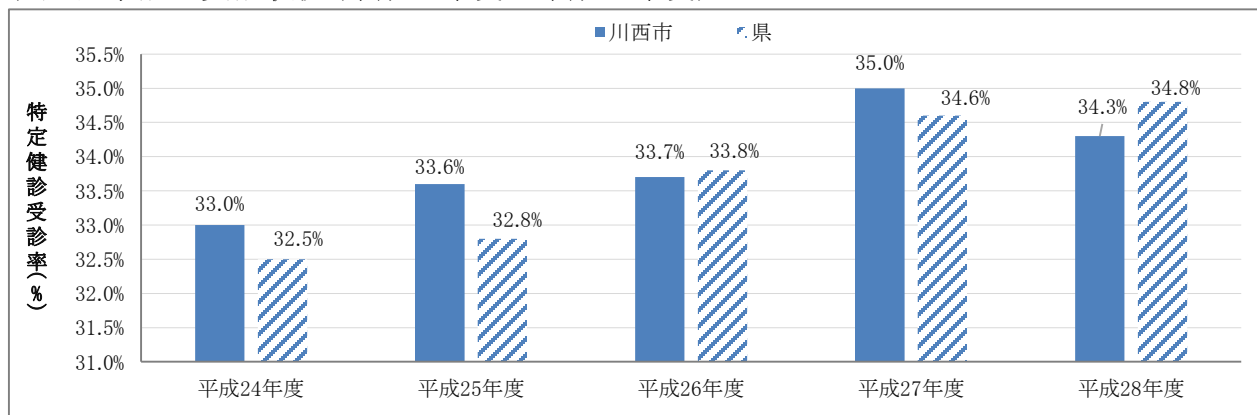
### (1) 特定健康診査の受診状況

<p><b>【課題1】 若年層の特定健診受診率が低い状態であるため、若年層の受診率向上に向けた取り組みが必要となる。</b></p>			
<p>対策のために実施した事業</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診未受診者への勧奨はがきの送付</li> <li>・ 特定健診の啓発チラシの配布</li> <li>・ 阪急バスでの車内放送による特定健診の周知</li> <li>・ 特定健診未受診者への電話勧奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出張特定健診</li> <li>・ 人間ドック費用の助成</li> <li>・ がん検診費用の無料化</li> <li>・ 親子イベントの開催</li> <li>・ 健幸マイレージの実施</li> <li>・ データヘルス計画の周知</li> </ul>		
<p><b>【考察】</b></p> <p>「平成28年度の評価」          平成26年度から平成27年度にかけて受診率が上昇している。全ての年齢階層で受診率が上昇しているが、特に50歳～54歳の受診率が2.6%上昇している。          また平成27年度から平成28年度にかけて、受診率全体では減少しているものの、40～44歳の受診率が1.3%上昇している。</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>3</td> </tr> </table>	評価	3
評価	3		
<p><b>【次期に向けた課題】</b>          若年層の受診率を上げることができた。しかし特定健診の受診率そのものの数値の変化は横ばいであるため、受診率向上のためにも、若年層の受診率上昇については引き続き重点的に取り組む必要がある。</p>			

#### ① 特定健康診査受診率

特定健康診査受診率の推移を以下に示す。

特定健康診査受診状況(平成24年度～平成28年度)





年齢階層別の特定健診受診率をみると若年層(40歳～54歳)の受診率が平成26年度から平成27年度にかけて増加傾向にあるが、依然として低く全体の受診率を押し下げる要因となっている。

#### 年齢階層別 特定健診受診率

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	全体
平成24年度	14.7%	15.2%	18.0%	23.0%	33.1%	38.3%	40.8%	33.0%
平成25年度	14.4%	16.5%	20.3%	23.0%	32.4%	39.0%	41.7%	33.6%
平成26年度	14.1%	14.9%	18.5%	24.8%	31.8%	39.9%	41.5%	33.7%
平成27年度	15.4%	16.4%	21.1%	26.2%	32.4%	40.8%	42.7%	35.0%
平成28年度	16.7%	16.5%	19.8%	24.4%	32.6%	38.7%	42.6%	34.3%

## (2) 有所見者の状況

<p><b>【課題2】</b> LDLコレステロール値が県下で最も高い状態であるため、LDLコレステロールの危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。</p> <p><b>【課題5】</b> 「脂質異常症」に係る入院及び外来の医療費が同規模自治体よりも高いため、その危険性、改善方法を広く市民に周知することが必要となる。</p>			
<p>対策のために実施した事業</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>脂質異常重症化予防プログラム</li> <li>特定健診結果及び医療費の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データヘルス計画の周知</li> </ul>		
<p><b>【考察】</b></p> <p>「平成28年度の評価」          〈健診結果〉          LDLコレステロールの基準値を超えた人の割合は毎年度減少している。従来はLDLコレステロールの基準値を超えた人の割合が一番多かったが、平成28年度には、2番目に多い項目になった。          〈プログラム参加者〉          プログラム参加者21名のうち、平成29年度の特定健診を受診済の12名について分析を行った。LDLコレステロール値が平均48mg/dl下がっており、指導の効果が一定数あった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> </tr> </table>	評価	4
評価	4		
<p><b>【次期に向けた課題】</b></p> <p>LDLコレステロール値は改善しているが、いまだに唯一県平均を超えている項目となっている。特定健診の有所見者数だけでなく医療費も高い数値にあるため、今後は「脂質異常症」全体として取り組むことが必要である。第1期計画でも実施した「脂質異常重症化予防プログラム」は継続するとともに、有所見者や患者が自ら取り組めるような、健康に関する市の事業等の発信を検討していくことが重要である。</p>			

### ①- i 特定健診の項目で基準値を超えた人の分析

特定健康診査で、脂質・血糖・血圧に係る検査値の基準値を超えた人の割合について県と比較した結果を示す。これまでLDLの有所見者数が最も高い数値になっていたが、平成28年度にはHbA1cの有所見者割合が1番高くなった。しかし県平均値と比較すると、LDLの項目のみが県平均を超えており、今後も優先的に取り組んでいく必要がある。

基準値を超えた検査項目とその割合（腹囲がメタボの基準を超えていない人も含む）

検査項目	脂質(LDL)		血糖(HbA1c)		血圧(収縮期)		
	川西市	県	川西市	県	川西市	県	
割合	平成24年度	64.4%	57.4%	53.8%	55.0%	44.0%	47.4%
	平成25年度	62.6%	58.5%	58.0%	51.9%	42.6%	46.4%
	平成26年度	62.9%	58.0%	58.3%	56.4%	43.5%	46.8%
	平成27年度	61.6%	57.5%	59.8%	57.2%	43.2%	46.6%
	平成28年度	58.6%	55.2%	59.1%	61.2%	44.6%	46.1%

## ①- ii LDLコレステロール値に係る要医療者の階層化

上記結果より県の割合を上回っているLDLコレステロール値について要医療者（※）でかつ医療機関未受診者の人数を男女・年齢階層別に算出した。全体的に女性の要医療者数が高くなっており、60～69歳で要医療者数が急増している。今後の施策については、この状況をふまえて実施していく。

※要医療者とは、LDLコレステロール値が180mg/dl以上の人である。

単位：人

### 要医療者の階層化

要医療者(LDL 180mg/dl以上)かつ医療 機関未受診	40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～69歳		70歳～75歳		合計		総計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
平成25年度	10	6	10	8	20	58	9	48	49	120	169
平成26年度	17	4	6	17	30	128	31	49	84	198	282
平成27年度	14	5	11	21	36	121	26	52	87	199	286
平成28年度	11	5	5	27	28	84	19	57	63	173	236

(26年度のデータは健診期間平成26年9月～平成27年8月健診分、レセプト期間平成26年8月～平成27年7月診療分で分析)

(27年度のデータは健診期間平成27年4月～平成28年3月健診分、レセプト期間平成27年5月～平成28年4月診療分で分析)

(28年度のデータは健診期間平成27年9月～平成28年8月健診分、レセプト期間平成27年8月～平成28年7月診療分で分析)

## ②腹囲がメタボの基準値を超えている人の分析

メタボ該当者の状況を以下に示す。前年度と比べて平成28年度については、メタボ予備軍のなかで県の数値を越えている項目はないが、脂質異常と血糖値においては県平均と差がない。

またメタボ該当者については、「血糖+脂質」が有所見者数割合こそ低いものの県平均を超えている。これらのことから川西市の課題として、引き続き、糖尿病と脂質異常症を優先課題として取り組む必要がある。

メタボ予備群(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを1つ持つ人)の割合

順位		第1位		第2位		第3位	
検査項目		高血圧		脂質異常		高血糖	
		川西市	県	川西市	県	川西市	県
割合	平成24年度	5.8%	7.0%	2.2%	2.7%	1.0%	0.7%
	平成25年度	5.6%	7.1%	2.5%	2.8%	0.8%	0.6%
	平成26年度	5.7%	7.0%	2.2%	2.6%	0.8%	0.6%
	平成27年度	5.9%	7.0%	2.2%	2.5%	0.6%	0.6%
	平成28年度	5.3%	7.0%	2.3%	2.5%	0.6%	0.6%

KDBシステム『地域の全体像の把握』より

メタボ該当者(特定健診の腹囲の値が基準値を超えた人のうち他のリスクを2つ以上持つ人)の割合

順位		第1位		第2位		第3位		第4位	
検査項目		血圧+脂質		血糖+血圧+脂質		血糖+血圧		血糖+脂質	
		川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県
割合	平成24年度	5.6%	7.6%	4.4%	4.2%	2.6%	2.6%	1.1%	0.9%
	平成25年度	6.1%	7.9%	4.2%	4.2%	2.3%	2.5%	0.9%	0.8%
	平成26年度	6.4%	8.0%	4.2%	4.6%	2.5%	2.4%	1.0%	0.8%
	平成27年度	7.0%	8.0%	4.7%	4.8%	2.4%	2.5%	1.1%	0.9%
	平成28年度	6.9%	7.9%	4.7%	4.9%	2.2%	2.5%	1.3%	0.9%

KDBシステム『地域の全体像の把握』より

### (3) 特定保健指導の利用状況

**【課題3】** 特定保健指導の利用率がまだ低い水準であるため、特定健診だけでなく保健指導を受けることの大切さを市民に周知する必要がある。

対策のために実施した事業

- ・国保健康まつりでの、案内リーフレットの配置
- ・データヘルス計画の周知
- ・特定保健指導講習会の実施

**【考察】**

評価

3

「平成28年度の評価」

積極的支援および動機付け支援の両方で45～54歳までの利用率が上昇しているが、他の年齢層の利用率が減少したため、平成27年度の利用率を下回る結果となった。

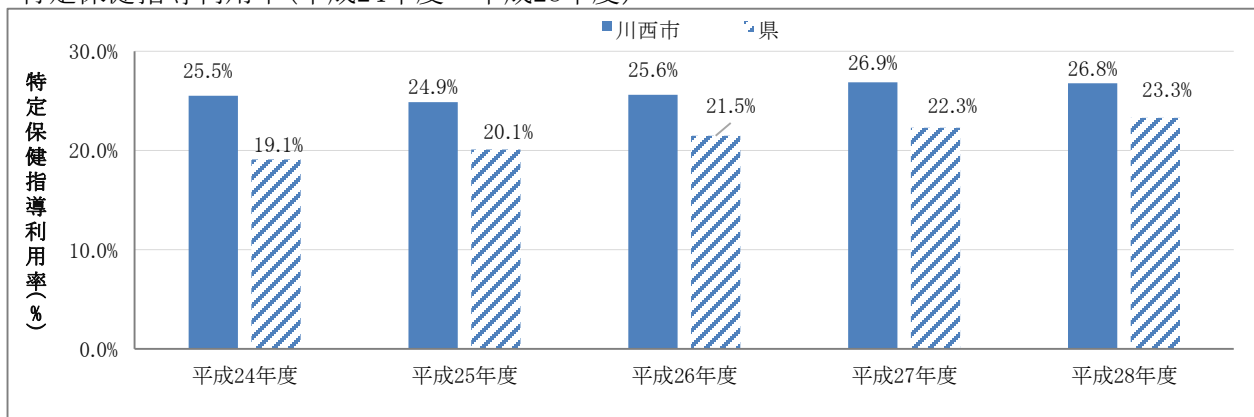
**【次期に向けての課題】**

県の利用率を超えているが、数値としては依然として低く、目標値へは未到達のままである。利用率全体で見た際も、変化は横ばいであるため、今後は特定保健指導の重要性をより周知する取組が必要である。

#### ① 特定保健指導利用率

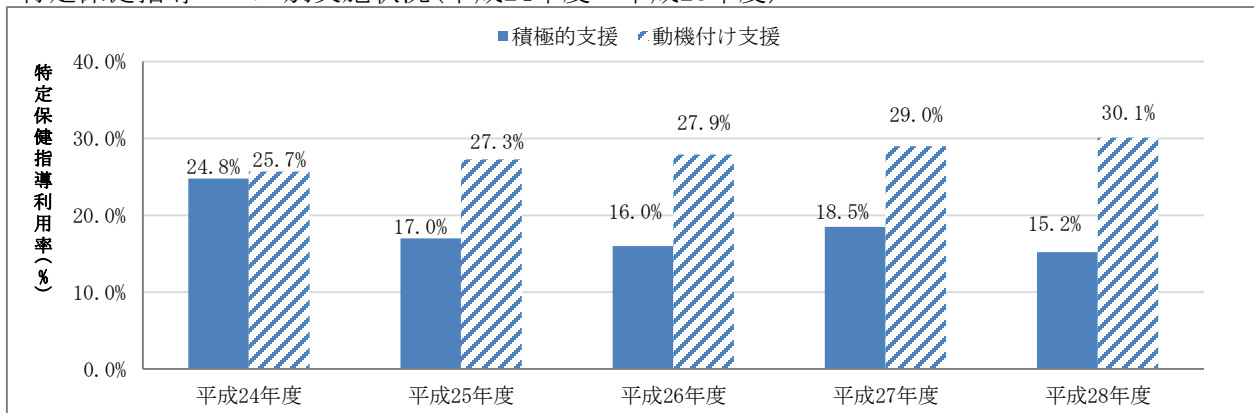
特定保健指導利用率については、安定して県平均を上回っているものの、数値の変化は横ばいである。平成28年度は前年度と比べ、利用率は減少している。

特定保健指導利用率(平成24年度～平成28年度)



法定報告値

特定保健指導レベル別実施状況(平成24年度～平成28年度)



法定報告値

また、年齢階層別の特定保健指導利用率をみると平成28年度の「積極的支援」における50歳～54歳の利用率、「動機付け支援」における55歳～59歳の利用率が前年度と比較して大きく上昇している。しかし全体的に見ると、年齢層や年度ごとの数値の動きは規則的ではない。したがって今後も引き続き、保健指導全体の利用率向上を課題として施策を実施していくことが重要である。

年齢階層別 特定保健指導利用率(積極的支援)

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	全体
平成25年度	11.1%	4.7%	8.6%	9.7%	31.8%	17.0%
平成26年度	11.1%	10.8%	4.8%	25.0%	21.5%	16.0%
平成27年度	27.3%	15.4%	20.0%	14.7%	27.3%	18.5%
平成28年度	18.9%	19.4%	27.5%	7.7%	26.9%	15.2%

年齢階層別 特定保健指導利用率(動機付け支援)

	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	全体
平成25年度	39.1%	15.0%	27.3%	17.4%	40.4%	31.1%	22.8%	27.3%
平成26年度	20.0%	25.0%	26.1%	30.0%	45.6%	31.6%	24.3%	27.9%
平成27年度	24.1%	14.8%	17.4%	50.0%	37.0%	31.8%	31.9%	29.0%
平成28年度	18.9%	18.2%	43.8%	15.0%	33.9%	29.2%	29.7%	30.1%

法定報告

#### (4) 医療費適正化の状況

<p><b>【課題4】</b> 前期高齢者の割合が多い状況の中、一人当たり医療費はかなり抑えられているものの、高齢化が進み医療費の増加が見込まれるため、さらなる医療費削減への取り組みが必要となる。</p>		
<p>対策のために実施した事業</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>重複受診者に対する保健指導</li> <li>脂質異常重症化予防プログラム</li> <li>糖尿病等重症化予防プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジェネリック医薬品の利用促進</li> <li>データヘルス計画の周知</li> </ul>	
<p><b>【考察】</b></p> <p>「平成28年度の評価」</p> <p>一人当たり医療費については、平成27年度は県の数値を下回っていたが、平成28年度に再び県の数値を超えた。しかしながら前期高齢者の加入率が県の数値を大きく上回っていることを考慮すると、医療費は比較的抑えられていると考えられる。</p>	<p>評価</p>	<p>3</p>
<p><b>【次期への課題】</b></p> <p>一人当たり医療費を県の数値と比較した際、前期高齢者の加入率の高さを考慮すると比較的抑えられているが、年々増加してきている。今後も引き続き医療費の増加の原因を分析し、健康増進施策と合わせ、ジェネリック医薬品等も含めた医療費適正化を目標にした施策を実施していく。</p>		

#### ①一人当たり医療費の状況

川西市国民健康保険における一人当たり医療費について県と比較した結果を以下に示す。平成28年度は県の数値を超える数値となっているが、前期高齢者の割合が高いことを考慮すると一人当たり医療費はかなり抑えられていると考えられる。

#### 一人当たり医療費

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
川西市	被保険者全体	309,129	326,393	328,282	343,546	350,106	365,532	376,902
	対前年度比		1.0558	1.0058	1.0465	1.0191	1.0441	1.1370
	前期高齢者(65歳～74歳)	458,011	482,161	481,720	490,163	497,268	518,771	521,172
兵庫県	被保険者全体	316,531	326,274	332,525	340,536	350,534	367,089	371,003
	対前年度比		1.0308	1.0192	1.0241	1.0294	1.0472	1.0107
	前期高齢者(65歳～74歳)	501,095	510,338	513,335	516,041	518,864	533,874	531,551

兵庫県：国民健康保険の状況(速報)より

#### 前期高齢者の加入率

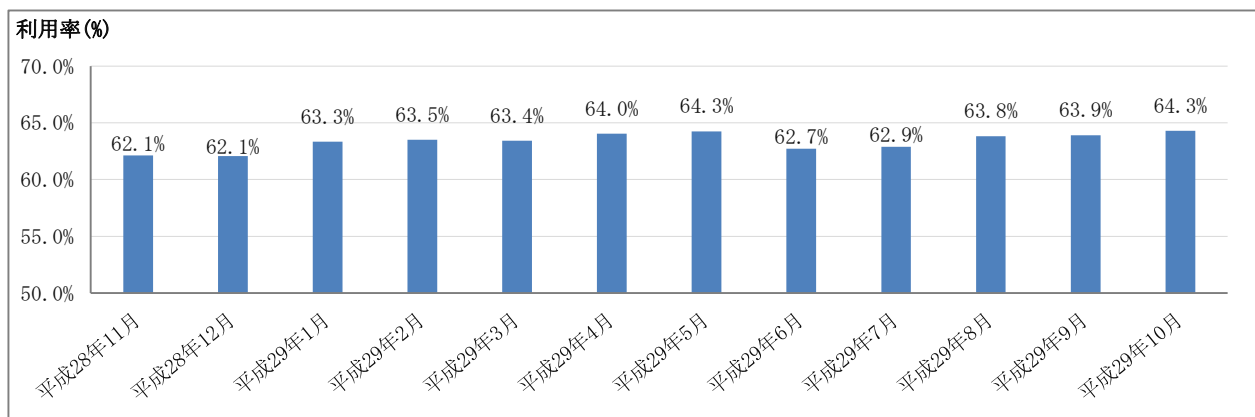
	川西市	県
平成22年度	40.20%	33.68%
平成23年度	39.94%	33.66%
平成24年度	40.99%	34.99%
平成25年度	42.73%	36.97%
平成26年度	44.62%	39.39%
平成27年度	45.84%	41.20%
平成28年度	47.54%	42.70%

## ②ジェネリック医薬品利用率に係る状況

以下に平成28年11月～平成29年10月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を示す。平成28年11月時点と比べると、10月時点では2.2%ジェネリック医薬品の利用率が上がっているが、国の目標値(※)は達成していないため、今後も先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し、薬剤費の削減を図る。

※国の目標値…閣議決定で「2020年(平成32年)9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」と定められた。

ジェネリック医薬品利用率(数量ベース)



出典：保険者別医薬品利用実態



## (5) 被保険者の生活習慣

<p><b>【課題6】</b> 運動習慣のある人が県平均より高いのにも拘わらず、20歳時体重から10kg以上増加している人が県平均を上回っているため、食生活に関する情報提供及び効果的な保健事業を実施することで食生活改善の意識づけを図る必要がある。</p>			
<p>対策のために実施した事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわにし健幸れすとらんの募集（平成29年度実施）</li> <li>・タニタヘルスリンクによる健幸セミナー（平成29年度実施）</li> <li>・データヘルス計画の周知</li> </ul>			
<p><b>【考察】</b></p> <p>「平成28年度の評価」          特定健診受診者の問診結果で「20歳の時の体重から10kg以上増加している」と回答した人の割合29.0%は、平成27年度の回答率29.3%より0.3ポイント減少した。また食の観点から生活習慣を見直すきっかけを作ってもらえるように、タニタの健康セミナーを実施した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> </tr> </table>	評価	4
評価	4		
<p><b>【次期への課題】</b>          改善の兆しは見えるものの、依然として県平均よりも高い数値になっている。今後は、現在取り組んでいる「かわにし健幸れすとらん」を中心に、食の観点から生活習慣を改善できる事業を増やしていく。また平成29年度に実施した健康セミナーでのアンケートの中で、「運動に関する事業に参加したい」という声が非常に多かったため、食生活に加え、運動面から生活習慣を改善できるような取組を行うことが重要である。</p>			

### ①平成28年度の質問別回答状況

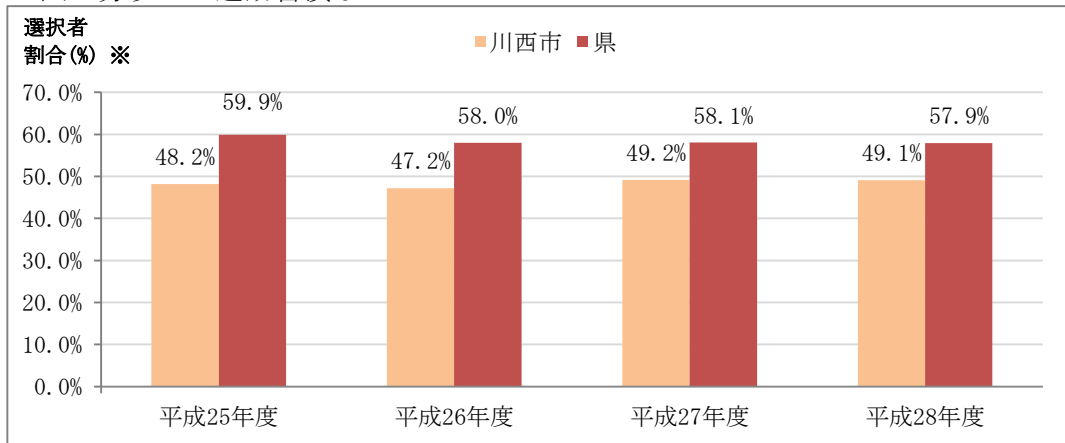
県の数値と比較すると、川西市は運動習慣がある人の割合が多くなっているが、20歳時より体重が10kg増えた人の割合は県の数値を上回っている。

質問の選択肢	喫煙あり		週3回以上朝食を抜く		週3回以上夕食後間食		週3回以上就寝前夕食		食べる速度が速い		1回30分以上の運動習慣なし		1日1時間以上運動なし		20歳時体重から10kg以上増加	
	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県	川西市	県
選択者割合	9.2%	12.8%	5.3%	6.6%	11.8%	12.5%	12.2%	13.6%	24.5%	29.2%	49.1%	57.9%	43.0%	50.1%	29.0%	28.5%

## ②運動習慣の状況

1回30分以上の運動習慣がない人、1日1時間以上運動をしない人の割合の変化を、県および年度ごとに比較したものを以下に示す。県と比べ、運動習慣がない人は少ない傾向が続いているが、徐々に増加してきている。このまま増加し続けられないようにするためにも、現時点で運動における生活習慣の改善を意識づける施策が必要である。

### 1回30分以上の運動習慣なし



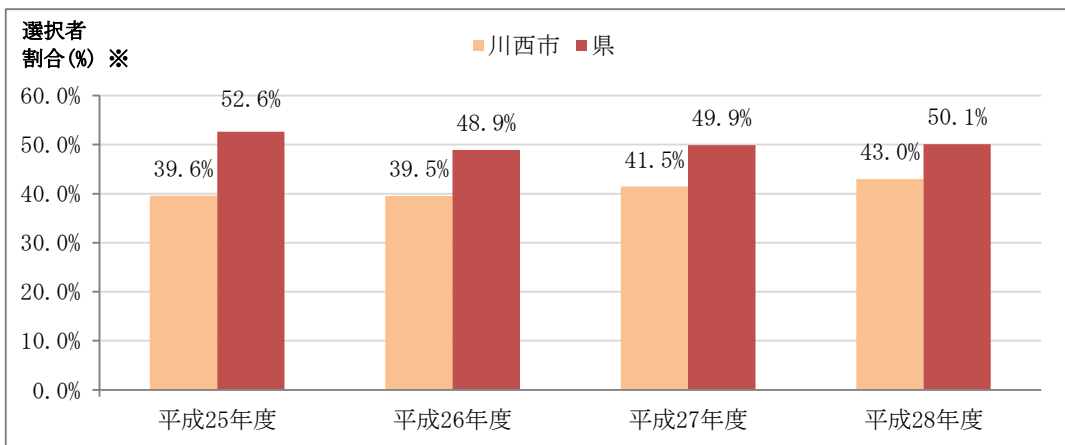
### 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

1回30分以上の運動がない…「1回30分以上の運動をしている。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### 1日1時間以上の運動がない人の割合



### 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

1回1時間以上の運動がない…「1日1時間以上の運動をしている。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③体重変化の状況

特定健康診査の質問票結果より、体重変化に関する質問について川西市の回答状況を県と比較する。20歳時体重から10kg以上増加している人の割合がいずれの年度も県を上回っているため、健康に関する情報提供及び効果的な保健指導を実施することで健康への意識づけを図る必要がある。

#### 20歳からの体重変化の回答状況

	選択者割合(%)※	選択者割合(県平均)(%)※
平成25年度	29.2%	27.5%
平成26年度	28.9%	28.2%
平成27年度	29.3%	28.2%
平成28年度	29.0%	28.5%

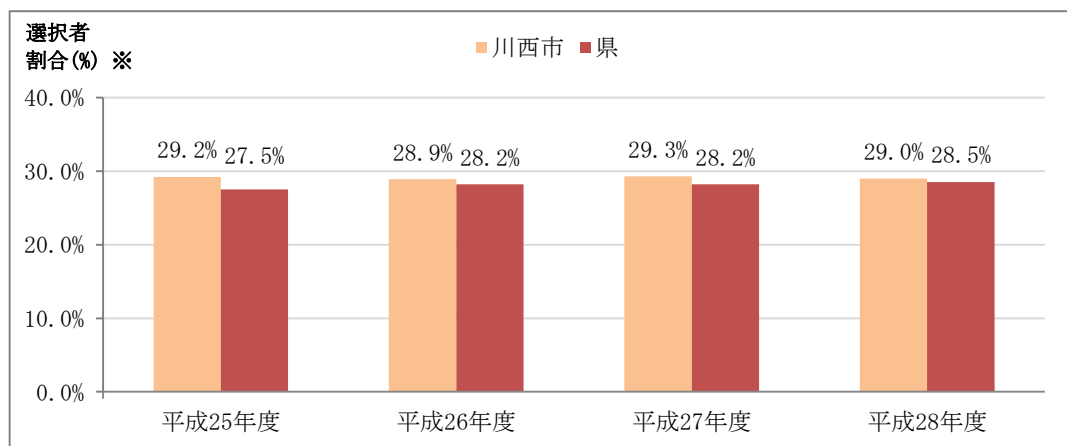
#### 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

20歳からの体重変化…「20歳の時から体重が10kg以上増減している。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### 20歳からの体重変化の選択者割合



#### 国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

20歳からの体重変化…「20歳の時から体重が10kg以上増減している。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 中分類による疾病別医療費統計

続いて、医療費を中分類別による疾病別統計の観点から分析していく。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

#### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	670,865,321	5.7%	5,010
2	0901	高血圧性疾患	566,788,144	4.8%	10,932
3	1113	その他の消化器系の疾患	517,079,616	4.4%	11,078
4	0402	糖尿病	507,286,861	4.3%	9,194
5	1402	腎不全	489,793,731	4.2%	713
6	0903	その他の心疾患	464,763,677	4.0%	5,939
7	0403	脂質異常症	411,857,696	3.5%	9,727
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	365,515,485	3.1%	938
9	0606	その他の神経系の疾患	342,570,046	2.9%	7,743
10	0902	虚血性心疾患	305,108,903	2.6%	3,792

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

#### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	517,079,616	11,078	32.7%
2	0901	高血圧性疾患	566,788,144	10,932	32.3%
3	0703	屈折及び調節の障害	51,048,854	10,251	30.3%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	147,375,302	9,882	29.2%
5	0403	脂質異常症	411,857,696	9,727	28.7%
6	0402	糖尿病	507,286,861	9,194	27.1%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,192,994	9,115	26.9%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	266,274,560	8,584	25.3%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	122,032,614	8,144	24.0%
10	1003	その他の急性上気道感染症	59,799,919	7,966	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

## 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	489,793,731	713	686,948
2	0209 白血病	56,074,906	87	644,539
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	365,515,485	938	389,675
4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,310,267	24	387,928
5	0208 悪性リンパ腫	89,123,128	261	341,468
6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	48,258,855	156	309,352
7	0601 パーキンソン病	102,921,072	342	300,939
8	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	92,969,860	340	273,441
9	0904 くも膜下出血	25,111,618	107	234,688
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	263,965,051	1,239	213,047

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

## (2) 上記3つの表からの分析結果

- i 医療費上位10疾病より、「その他の悪性新生物<腫瘍>」の医療費が最も多くなっており、がんに対する施策が必要である。
- ii 医療費上位10疾病、患者数上位10疾病より、「高血圧性疾患」が上位にある。また特定健診の高血圧での有所見者数割合も多いため、高血圧症の医療費を抑える施策が必要である。
- iii 医療費上位10疾病、患者数上位10疾病より、「糖尿病」と「脂質異常症」が上位にある。また患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病では「腎不全」が一番多い値となっている。腎不全については、Ⅱ型糖尿病が原因となるものも含まれるため、生活習慣の観点から見た、糖尿病および脂質異常症の重症化予防施策が必要である。

### (3) 人工透析患者の分析

引き続き、人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、69.1%が生活習慣を起因とするものであり、その65.5%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

これらの分析から、糖尿病性腎症の重症化予防に関する取組が必要である。

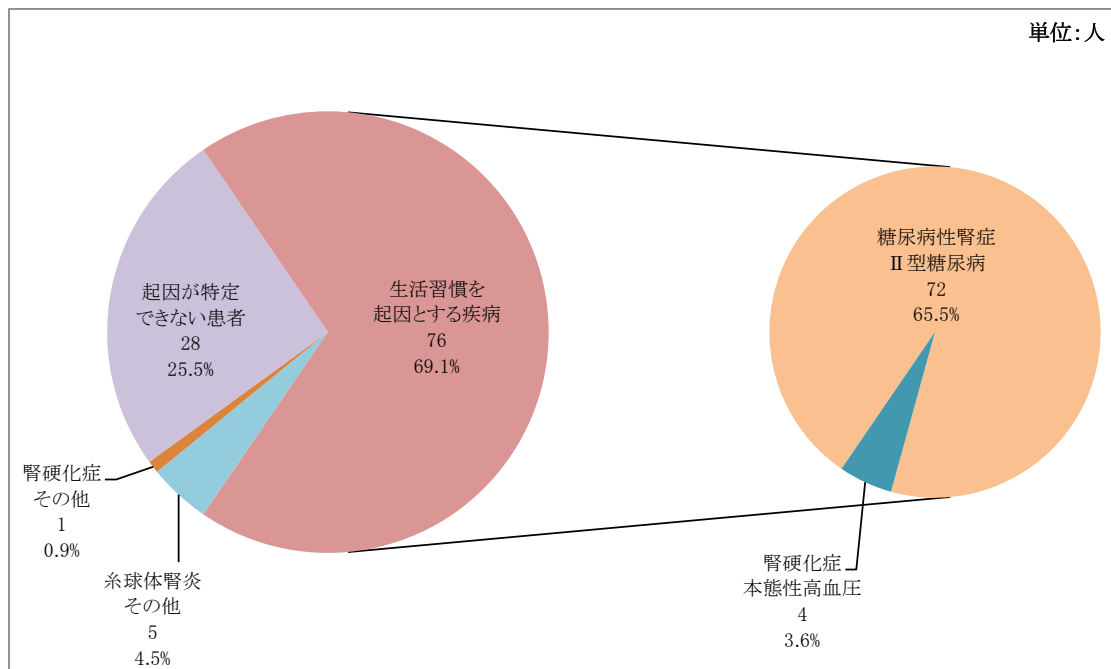
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	105
腹膜透析のみ	4
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	110

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 4. 各課題とそれに対する長期的な目標値

第1期計画の振り返りと、各分析結果からみた課題およびその事業は下記のとおりである

課題	長期的な目標値
<p>【課題1】 引き続き、特定健診の受診率向上に向けた取り組みが必要である。</p>	<p>特定健診受診率を40.3%にすること。</p>
<p>【課題2】 特定保健指導の利用率がまだ低い水準であるため、特定健診だけでなく保健指導を受けることの大切さを、市民に引き続き周知する必要がある。</p>	<p>特定健診利用率を40%にすること。</p>
<p>【課題3】 LDLコレステロール値において、有所見者数は減少している。しかし健診項目のなかでも県平均をいまだに大きく上回る項目であり、脂質異常症における医療費も高い。</p>	<p>健診で基準値を超えている人の割合が県平均値を下回ること。</p>
<p>【課題4】 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在するため、早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させる必要がある。</p>	<p>プログラムへの参加者の人工透析移行率が0%であること。</p>
<p>【課題5】 県の数値と比較した際、高齢化率に対して一人当たり医療費は抑えられているが、今後も抑えられるよう、取り組んでいく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の値よりも一人当たり医療費が抑えられていること。</li> <li>・ジェネリック医薬品の使用率が数量ベースで80%以上であること。</li> </ul>
<p>【課題6】 中分類による疾病別統計に目を向けた際、その他の悪性新生物にかかる医療費が非常に高額になっている。がんにかかる医療費を減少させていく必要がある。</p>	<p>がんの早期発見のためにがん検診の受診が進んでいること。</p>
<p>【課題7】 運動習慣のある人が県平均より高いにも拘わらず、20歳時体重から10kg以上増加している人が県平均を上回っている。食や運動等、生活習慣の改善に関する案内が必要である。</p>	<p>20歳時体重から10kg以上増加している人の割合が県の数値を下回ること。</p>
<p>【課題8】 特定健診の項目で、高血圧で基準値を超えている人の割合が多い。また中分類の分析においても、高血圧症の医療費と患者数が多くなっているため、食などの生活習慣改善に向けた呼びかけが必要である。</p>	<p>高血圧で基準値を超える人の割合が42.6%以下になること。</p>

## 5. 保健事業実施計画

### (1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

課題	事業名	事業の目的	ストラクチャー
特定健診受診率、特定保健指導利用率の向上 課題1・2	特定健診 受診勧奨事業	特定健診未受診者への勧奨はがきの送付	【対象者】当該年度およびその前年度のどちらも到底健診未受診の人、約16,000人(平成29年度実績) 【担当実施部門】国民健康保険課
		特定健診の啓発チラシの配布	【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者(全戸配布の年度と年齢別に対象者を絞った年度を設定する) 【担当実施部門】国民健康保険課
		特定健診未受診者への電話勧奨	【対象者】当該年度およびその前年度のどちらも特定健診未受診の人、1,000人(年齢などの条件により、毎年度抽出条件を変更する) 【担当実施部門】国民健康保険課
		地域に出向いた、特定健診と特定保健指導に関する勧奨	特定健診および特定保健指導の受診率向上 【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者 【担当実施部門】国民健康保険課、健幸政策課
		人間ドック費用の助成	【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者 【担当実施部門】国民健康保険課
		食または運動に関するイベントを通じた、受診勧奨案内	【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者 【実施担当部門】国民健康保険課
LDLコレステロールで基準値を超えている人の減少 課題3	ハ	脂質異常重症化予防プログラム	LDLコレステロール値が高い被保険者の減少 【対象者※】LDLコレステロール値が180mg/dl以上(要医療者)で脂質異常に関して医療機関を受診していない人、約250名 【実施担当部門】国民健康保険課
	ポ	かわにし健幸れすとらん	食の観点から健康への意識を向上させる。 【対象者】川西市内の飲食店(小売り、中食業者を除く) 【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課



プロセス	目標値	
	アウトプット	アウトカム
特定健診の未受診者に対して勧奨はがきを送付する。	送付率100%	特定健診受診率 毎年度1%上昇 特定保健指導利用率 毎年度0.7%上昇
全戸配布の年度と、年齢等で対象者を特定健診受診勧奨リーフレットを配布する。	配布率100%	
対象者に対して特定健診の電話勧奨を行う。	電話がつながった人への受診勧奨100%	
国民健康保険課職員が自治会館等に赴き、市民に対して特定健診・保健指導についての説明会を行う。	説明会参加者への特定健診の周知	
特定健診の検査項目を満たしている人間ドックの費用の助成を行い、人間ドックの結果も特定健診の実績として反映させ、特定健診の受診率向上につなげる。	特定健診受診の実績への反映率100%	
出張特定健診と同時に開催したり、イベント内で特定健診および特定保健指導に関する周知を行ったりすることで、特定健診の受診および特定保健指導の利用のきっかけづくりをする。イベントの内容については、食と運動について年度ごとに交互に実施する。	年1回イベントの実施	
対象者に対し、脂質異常重症化予防プログラムを案内するとともに、医療機関への受診勧奨を行う。またプログラムの参加者および受診勧奨を行った人に対し後追い調査を行い、その後の健診での数値や受診状況の変化などを分析する。	医療機関への受診勧奨案内の実施率100% プログラムへの参加率10%	
カロリー表示やヘルシーメニューの提供をしている市内の飲食店をホームページで市民等に周知する。脂質異常症や高血圧症などに効果的なメニューおよびその提供店を掲載する。	1回の応募で新規店舗を3店舗掲載	

課題	事業名	事業の目的	ストラクチャー
糖尿病性腎症重症化予防 課題4	ハ	糖尿病等重症化予防プログラム	<p>【対象者※】HbA1cが6.5以上で、血圧・脂質・血糖の3疾患の治療がない人、95名(平成28年度)</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p> <p>【対象者】糖尿病の治療歴があるが現在は治療を中断していると思われる人、10名()</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p> <p>【対象者】Ⅱ型糖尿病で顕性腎症期の人、約10名</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
	ポ	かわにし健幸れすとらん	<p>食の観点から健康への意識を向上させる。</p> <p>【対象者】川西市内の飲食店(小売り、中食業者を除く)</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課</p>
医療費の増加率の抑制 課題5	ハ	特定健診結果及び医療費の分析	<p>リスクの高い者に対する保健指導や未罹患者に対する早期発見</p> <p>【対象者】国民健康保険被保険者</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
		重複・頻回受診、重複服薬者に対する保健指導	<p>重複受診、重複服薬に伴うリスク等の減少、医療費の抑制</p> <p>【対象者※】①重複受診については、1か月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人②頻回受診については、1か月間に12回以上受診している人③重複服薬については、1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える人</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課</p>
	ポ	ジェネリック差額通知の送付	<p>ジェネリック医薬品の使用率向上及び医療費の抑制</p> <p>【対象者】服薬中の薬をジェネリック医薬品に変えた際、200円以上の差額が出る人、約11,000件(平成29年度)</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
がんにかかる医療費の抑制 課題6	ポ	リーフレットの送付による、がん検診受診勧奨	<p>がんにおける医療費の抑制</p> <p>【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
		がん検診の無料化	
生活習慣の改善 課題7	ポ	健幸政策課と連携した健康に対する意識向上の取り組み	<p>【対象者】健幸マイレージに参加している国民健康保険被保険者</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課</p>
		かわにし健幸れすとらん	<p>【対象者】川西市内の飲食店(小売り、中食業者を除く)</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課</p>
		食または運動に関するイベントを通した、受診勧奨案内	<p>生活習慣を改善していくためのきっかけづくり</p> <p>【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
高血圧で基準値を超える人の割合の減少 課題8	ポ	高血圧に関する通知	<p>高血圧における有所見者割合の減少、医療費および患者数の減少</p> <p>【対象者】40歳以上の国民健康保険被保険者</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課</p>
		かわにし健幸れすとらん	<p>食の観点から健康への意識を向上させる。</p> <p>【対象者】川西市内の飲食店(小売り、中食業者を除く)</p> <p>【実施担当部門】国民健康保険課、健幸政策課</p>

プロセス	目標値	
	アウトプット	アウトカム
対象者に対し、医療機関への受診勧奨を行う。勧奨した対象者の後追い調査を行い、医療機関への受診率を分析する。	医療機関への受診勧奨率100%	受診勧奨、その後医療機関へ受診した人の人工透析移行率0% プログラム参加者の人工透析移行率0%
通知や電話等を通じ、対象者へ医療機関への受診勧奨を行う。また勧奨した対象者の後追い調査を行い、医療機関への受診率を分析する。	医療機関への受診勧奨率100%	
通知や電話、面談等を通じ、生活習慣の観点から糖尿病性腎症を悪化させないように保健指導を行う。	プログラムへの参加率100%	
カロリー表示やヘルシーメニューの提供をしている市内の飲食店をホームページで市民等に周知する。脂質異常症や高血圧症などに効果的なメニューおよびその提供店を掲載する。	1回の応募で3店舗掲載	
レセプトデータ、健診データ等をもとに、取り組むべき課題を分析する。	データを毎年度分析し、積み上げる	医療費増加の抑制
重複・頻回受診、重複服薬が確認できる対象者を特定し、訪問指導を行う。	該当者に対し保健指導を実施する	指導実施後、翌年度以降の対象者として再度抽出されないこと
ジェネリック差額通知を送付し、ジェネリック医薬品使用の勧奨を行う。その後送付した対象者について切り替えの状況等の分析を行う。	通知発送率100%	ジェネリック医薬品の使用率毎年度3% ずつ上昇
国民健康保険課から送付する保険証や認定証などに、ジェネリックシールを同封して送付する。	同封率100%	
特定健診受診対象者へのリーフレットに、がん検診費用の助成について記載し、受診勧奨を行う。	がん検診周知に関する通知の送付率100%	がん検診受診率が対前年度比で増加すること
がんの早期発見につながるがん検診を受診しやすくするために、がん検診受診の助成を行う。	肺がん検診、前立腺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診の無料化	
健幸マイレージが貯まる運動や食に関するイベント等を、特定健診のリーフレットなどに記載し、送付する。	送付率100%	20歳時と比べ、体重が10kg以上増えた人の割合が毎年度0.2%ずつ減少
カロリー表示やヘルシーメニューの提供をしている市内の飲食店をホームページで市民等に周知する。脂質異常症や高血圧症などに効果的なメニューおよびその提供店を掲載する。	1回の応募で新規店舗を3店舗掲載	
食と運動について、生活習慣改善のきっかけづくりになるようなイベントを実施する	年1回イベントの実施	
被保険者に送付するリーフレット等を通じて、高血圧症の危険性や、高血圧で健診の基準値を超えた人の割合など、川西市の現状について周知を行う。また同リーフレット内で改善策等の案内をする。	通知の送付率100%	高血圧の基準値を超える人の割合が毎年度0.4%ずつ減少
カロリー表示やヘルシーメニューの提供をしている市内の飲食店をホームページで市民等に周知する。脂質異常症や高血圧症などに効果的なメニューおよびその提供店を掲載する。	1回の応募で新規店舗を3店舗掲載	

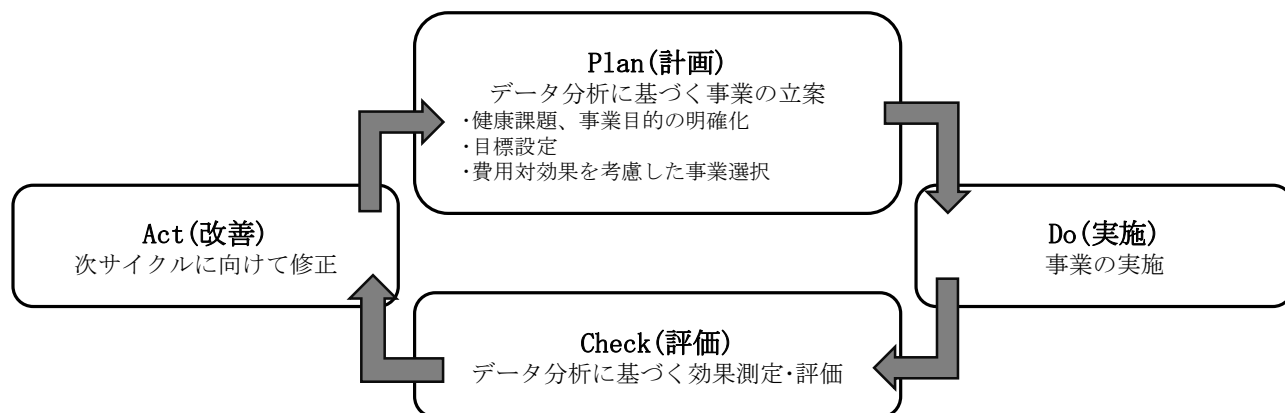
※がん、精神疾患、難病、認知症の患者については対象から除外する

## 6. その他

### (1) データヘルス計画の見直し

#### ① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

#### ② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

### (2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### (3) 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

### (4) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 卷末資料

1. 用語解説集
2. 医療費情報分析結果
  - (1) 基礎統計
  - (2) 高額レセプトの件数及び医療費
  - (3) 大分類による疾病別医療費統計
  - (4) 中分類による疾病別医療費統計
3. 地区分析
  - (1) 大分類による疾病別医療費地区別統計
  - (2) 中部類による疾病別医療費地区別統計
4. 年度別 特定健康診査結果分析
  - (1) 有所見者割合
  - (2) 質問回答状況
    - ①喫煙習慣
    - ②運動習慣
    - ③食習慣
    - ④飲酒習慣
    - ⑤生活習慣
5. 疾病分類表(2013年版)

# 1. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

## 2. 医療情報分析結果

### (1) 基礎統計

当医療費統計は、川西市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均37,500人、レセプト件数は平均43,863件、患者数は平均19,144人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均52,684円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	38,891	38,335	38,256	38,207	38,024	37,876	37,701	
B	レセプト件数(件)	入院外	28,710	28,268	28,744	27,972	27,057	27,258	28,038
		入院	716	703	860	751	751	721	727
		調剤	16,120	15,766	16,000	15,521	15,279	15,210	15,728
		合計	45,546	44,737	45,604	44,244	43,087	43,189	44,493
C	医療費(円) ※	1,013,406,740	979,724,910	1,095,724,220	1,033,020,430	1,026,597,980	1,000,711,060	1,031,686,410	
D	患者数(人) ※	19,777	19,567	19,658	19,318	18,971	18,989	19,288	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,058	25,557	28,642	27,037	26,999	26,421	27,365	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,250	21,900	24,027	23,348	23,826	23,171	23,188	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,242	50,070	55,739	53,475	54,114	52,700	53,489	
B/A	受診率(%)	117.1%	116.7%	119.2%	115.8%	113.3%	114.0%	118.0%	
D/A	有病率(%)	50.9%	51.0%	51.4%	50.6%	49.9%	50.1%	51.2%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	36,941	36,732	36,599	36,257	36,180	37,500		
B	レセプト件数(件)	入院外	27,700	27,581	26,056	26,043	27,549	27,581	330,976
		入院	733	706	687	680	720	730	8,755
		調剤	15,605	15,604	14,980	14,850	15,965	15,552	186,628
		合計	44,038	43,891	41,723	41,573	44,234	43,863	526,359
C	医療費(円) ※	1,036,371,840	993,052,020	945,826,310	931,749,750	1,014,893,850	1,008,563,793	12,102,765,520	
D	患者数(人) ※	19,185	19,135	18,454	18,442	18,940	19,144	229,724	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,055	27,035	25,843	25,698	28,051	26,895		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,534	22,625	22,669	22,412	22,944	22,993		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,020	51,897	51,253	50,523	53,585	52,684		
B/A	受診率(%)	119.2%	119.5%	114.0%	114.7%	122.3%	117.0%		
D/A	有病率(%)	51.9%	52.1%	50.4%	50.9%	52.3%	51.0%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは4,033件発生しており、レセプト件数全体の0.8%を占める。高額レセプトの医療費は41億1,854万円となり、医療費全体の34.0%を占める。

### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	45,546	44,737	45,604	44,244	43,087	43,189	44,493
B	高額レセプト件数(件)	294	310	389	342	347	338	356
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.7%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%
C	医療費(円) ※	1,013,406,740	979,724,910	1,095,724,220	1,033,020,430	1,026,597,980	1,000,711,060	1,031,686,410
D	高額レセプトの医療費(円) ※	306,184,220	312,407,830	391,791,980	362,404,360	363,569,320	341,722,640	368,083,420
E	その他レセプトの医療費(円) ※	707,222,520	667,317,080	703,932,240	670,616,070	663,028,660	658,988,420	663,602,990
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	30.2%	31.9%	35.8%	35.1%	35.4%	34.1%	35.7%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	44,038	43,891	41,723	41,573	44,234	43,863	526,359
B	高額レセプト件数(件)	349	335	310	314	349	336	4,033
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%	
C	医療費(円) ※	1,036,371,840	993,052,020	945,826,310	931,749,750	1,014,893,850	1,008,563,793	12,102,765,520
D	高額レセプトの医療費(円) ※	376,173,920	336,616,380	307,941,520	307,647,290	343,994,370	343,211,438	4,118,537,250
E	その他レセプトの医療費(円) ※	660,197,920	656,435,640	637,884,790	624,102,460	670,899,480	665,352,356	7,984,228,270
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	36.3%	33.9%	32.6%	33.0%	33.9%	34.0%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。



## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎不全」「その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」「腎不全」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 血液凝固異常, 血友病A	7	20,246,860	46,025,800	66,272,660	9,467,523
2	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	ファブリー病, 未熟児くる病, 原発性副甲状腺機能亢進症	5	9,997,730	29,284,300	39,282,030	7,856,406
3	1402	腎不全	末期腎不全, 慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージ5	43	119,831,500	139,697,870	259,529,370	6,035,567
4	0904	くも膜下出血	くも膜下出血, 中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6	33,525,510	1,308,180	34,833,690	5,805,615
5	1701	心臓の先天奇形	心室中隔欠損症	1	5,093,120	369,450	5,462,570	5,462,570
6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺, 四肢麻痺, 痙性四肢麻痺	10	52,008,790	1,151,360	53,160,150	5,316,015
7	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 肺腺癌	61	143,582,310	167,274,720	310,857,030	5,096,017
8	0507	その他の精神及び行動の障害	高次脳機能障害, 摂食障害, 自閉症	4	16,440,340	754,980	17,195,320	4,298,830
9	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫	27	82,540,910	30,154,170	112,695,080	4,173,892
10	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性リンパ性白血病, 慢性リンパ性白血病	16	26,403,880	39,084,830	65,488,710	4,093,044
11	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝硬変, C型肝炎	39	19,184,170	136,196,270	155,380,440	3,984,114
12	0106	その他のウイルス性疾患	HIV感染症, HIV腎症	4	7,496,860	8,402,470	15,899,330	3,974,833
13	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 人工股関節置換術後, 眼内レンズ挿入眼	3	9,390,350	1,517,860	10,908,210	3,636,070
14	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝頭部癌, 膝癌	168	378,895,370	230,479,620	609,374,990	3,627,232
15	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌, 直腸癌術後再発	31	65,434,890	45,451,490	110,886,380	3,576,980
16	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 慢性炎症性脱髄性多発神経炎, 不眠症	40	100,150,850	42,228,440	142,379,290	3,559,482
17	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン症候群, パーキンソン病Ya hr4	23	64,713,830	16,361,080	81,074,910	3,524,996
18	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 肺動脈性肺高血圧症, 慢性心不全	96	241,192,210	92,221,660	333,413,870	3,473,061
19	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	多発性のう胞腎, 白蓋形成不全, 尿管部停留精巣	4	5,173,790	8,698,410	13,872,200	3,468,050
20	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	尋常性乾癬, 水疱性類天疱瘡, 褥瘡	6	14,571,390	5,768,780	20,340,170	3,390,028

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「骨折」である。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝頭部癌, 膝癌	168	378,895,370	230,479,620	609,374,990	3,627,232
2	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	123	222,231,990	55,022,160	277,254,150	2,254,099
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 上腕骨近位端骨折	114	179,712,770	34,432,330	214,145,100	1,878,466
4	0903	その他の心疾患	発作性心房細動, 肺動脈性肺高血圧症, 慢性心不全	96	241,192,210	92,221,660	333,413,870	3,473,061
5	1113	その他の消化器系の疾患	急性虫垂炎, 便秘症, 癒着性イレウス	76	103,415,650	36,151,440	139,567,090	1,836,409
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 下葉肺癌, 肺腺癌	61	143,582,310	167,274,720	310,857,030	5,096,017
7	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 肩関節拘縮, 距骨壊死	56	139,340,150	21,904,870	161,245,020	2,879,375
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫, 壁内子宮平滑筋腫, 卵巣腫瘍	54	87,143,470	21,856,050	108,999,520	2,018,510
9	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 幽門前庭部癌	49	67,802,860	46,895,140	114,698,000	2,340,776
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 横行結腸癌	47	76,370,220	71,028,210	147,398,430	3,136,137
10	1302	関節症	変形性膝関節症, 両側性純発性股関節症, 変形性股関節症	47	107,130,260	15,737,140	122,867,400	2,614,200
12	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 胆石性胆のう炎, 総胆管結石性胆管炎	46	49,134,780	12,330,560	61,465,340	1,336,203
13	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	43	33,311,130	16,133,980	49,445,110	1,149,886
13	1402	腎不全	末期腎不全, 慢性腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	43	119,831,500	139,697,870	259,529,370	6,035,567
15	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	41	39,434,630	46,754,290	86,188,920	2,102,169
15	0906	脳梗塞	脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症	41	117,228,730	11,304,810	128,533,540	3,134,964
17	0606	その他の神経系の疾患	筋萎縮性側索硬化症, 慢性炎症性脱髄性多発神経炎, 不眠症	40	100,150,850	42,228,440	142,379,290	3,559,482
18	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎硬変, C型肝炎	39	19,184,170	136,196,270	155,380,440	3,984,114
19	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 非定型精神病, 統合失調感情障害	34	76,262,830	17,622,870	93,885,700	2,761,344
19	1011	その他の呼吸器系の疾患	誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全, 特発性肺線維症	34	62,543,960	30,520,780	93,064,740	2,737,198

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.6%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.1%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	443,604,399	3.8%	11	45,322	11	11,138	8	39,828	15
II. 新生物<腫瘍>	1,826,263,451	15.6%	1	46,013	10	11,211	7	162,899	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	159,451,263	1.4%	15	11,924	17	3,040	16	52,451	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1,135,371,068	9.7%	3	165,850	1	16,017	3	70,885	8
V. 精神及び行動の障害	743,946,878	6.3%	6	46,841	9	4,393	14	169,348	2
VI. 神経系の疾患	597,307,390	5.1%	9	84,657	6	8,439	11	70,779	9
VII. 眼及び付属器の疾患	507,616,162	4.3%	10	55,008	8	12,389	6	40,973	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	63,725,711	0.5%	16	13,795	16	3,723	15	17,117	20
IX. 循環器系の疾患	1,772,175,151	15.1%	2	165,085	2	15,211	4	116,506	4
X. 呼吸器系の疾患	671,261,899	5.7%	8	92,702	5	18,268	1	36,745	16
X I. 消化器系の疾患 ※	932,965,211	8.0%	5	140,247	3	17,264	2	54,041	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	244,475,469	2.1%	13	56,855	7	11,049	9	22,126	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,133,049,174	9.7%	4	123,027	4	14,333	5	79,052	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	739,790,865	6.3%	7	43,165	12	7,581	12	97,585	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	16,773,660	0.1%	19	542	20	213	20	78,750	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	15,211,811	0.1%	20	121	21	58	21	262,273	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	29,109,253	0.2%	18	1,575	19	565	19	51,521	13
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,192,994	2.0%	14	39,492	13	9,115	10	25,474	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	413,016,610	3.5%	12	24,062	14	6,693	13	61,709	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	50,457,823	0.4%	17	14,457	15	2,548	17	19,803	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	6,290,138	0.1%	21	3,494	18	827	18	7,606	21
合計	11,734,056,380			521,717		33,867		346,475	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

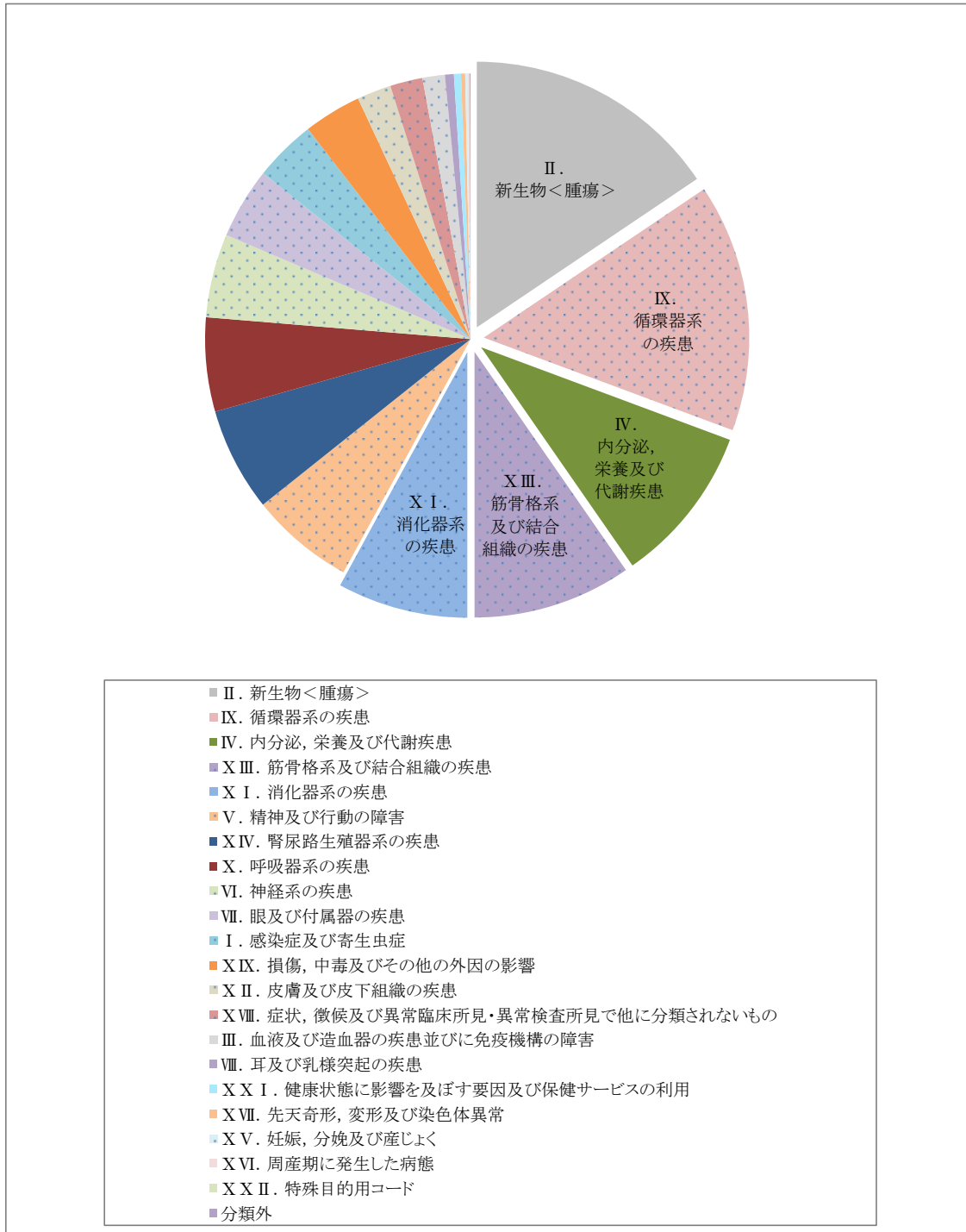
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…AB0因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で過半数を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

#### (4) 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

#### 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)		レセプト件数 ※		患者数 ※	
	11,734,056,380		521,717		33,867	

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	443,604,399	3.8%		45,322	8.7%		11,138	32.9%		39,828	
0101 腸管感染症	27,197,200	0.2%	73	7,525	1.4%	53	3,172	9.4%	35	8,574	108
0102 結核	10,035,127	0.1%	98	1,489	0.3%	93	555	1.6%	87	18,081	85
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	5,834,087	0.0%	107	1,956	0.4%	87	1,067	3.2%	72	5,468	114
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	41,295,450	0.4%	66	7,606	1.5%	52	2,033	6.0%	48	20,313	74
0105 ウイルス性肝炎	203,722,831	1.7%	17	7,017	1.3%	56	1,713	5.1%	56	118,928	20
0106 その他のウイルス性疾患	23,668,973	0.2%	78	1,114	0.2%	101	488	1.4%	89	48,502	40
0107 真菌症	74,230,262	0.6%	44	15,682	3.0%	33	3,676	10.9%	31	20,193	76
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	554,520	0.0%	117	185	0.0%	113	45	0.1%	115	12,323	99
0109 その他の感染症及び寄生虫症	57,065,949	0.5%	56	8,811	1.7%	47	3,045	9.0%	37	18,741	81
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	1,826,263,451	15.6%		46,013	8.8%		11,211	33.1%		162,899	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	137,537,405	1.2%	30	7,197	1.4%	54	2,824	8.3%	38	48,703	39
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	145,740,956	1.2%	29	6,087	1.2%	61	2,495	7.4%	41	58,413	32
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	92,969,860	0.8%	39	1,475	0.3%	94	340	1.0%	98	273,441	8
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	64,150,326	0.5%	52	3,389	0.6%	80	1,152	3.4%	70	55,686	33
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	263,965,051	2.2%	12	3,967	0.8%	73	1,239	3.7%	67	213,047	10
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	123,820,127	1.1%	31	3,784	0.7%	76	761	2.2%	79	162,707	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	22,938,030	0.2%	80	1,368	0.3%	96	588	1.7%	85	39,010	48
0208 悪性リンパ腫	89,123,128	0.8%	42	1,549	0.3%	91	261	0.8%	99	341,468	5
0209 白血病	56,074,906	0.5%	57	507	0.1%	107	87	0.3%	111	644,539	2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	670,865,321	5.7%	1	19,268	3.7%	28	5,010	14.8%	20	133,905	16
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	159,078,341	1.4%	23	11,235	2.2%	42	4,590	13.6%	23	34,658	55
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	159,451,263	1.4%		11,924	2.3%		3,040	9.0%		52,451	
0301 貧血	68,919,184	0.6%	48	8,360	1.6%	49	2,080	6.1%	47	33,134	58
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	90,532,079	0.8%	41	4,100	0.8%	71	1,251	3.7%	66	72,368	29
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	1,135,371,068	9.7%		165,850	31.8%		16,017	47.3%		70,885	
0401 甲状腺障害	63,821,453	0.5%	53	13,903	2.7%	37	3,343	9.9%	34	19,091	80
0402 糖尿病	507,286,861	4.3%	4	68,851	13.2%	5	9,194	27.1%	6	55,176	34
0403 脂質異常症	411,857,696	3.5%	7	111,532	21.4%	2	9,727	28.7%	5	42,342	47
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	152,405,058	1.3%	24	29,234	5.6%	16	4,065	12.0%	29	37,492	50
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	743,946,878	6.3%		46,841	9.0%		4,393	13.0%		169,348	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	12,996,547	0.1%	92	871	0.2%	103	158	0.5%	105	82,257	25
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	24,889,616	0.2%	76	980	0.2%	102	153	0.5%	107	162,677	14
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	365,515,485	3.1%	8	13,747	2.6%	38	938	2.8%	75	389,675	3

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	11,734,056,380	521,717	33,867

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	171,791,313	1.5%	21	22,232	4.3%	25	1,830	5.4%	52	93,875	23
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	66,665,096	0.6%	50	22,274	4.3%	24	2,465	7.3%	42	27,045	67
0506	知的障害<精神遅滞>	11,433,097	0.1%	96	220	0.0%	111	92	0.3%	110	124,273	19
0507	その他の精神及び行動の障害	90,655,724	0.8%	40	2,836	0.5%	84	431	1.3%	91	210,338	11
VI. 神経系の疾患		597,307,390	5.1%		84,657	16.2%		8,439	24.9%		70,779	
0601	パーキンソン病	102,921,072	0.9%	35	4,337	0.8%	69	342	1.0%	97	300,939	7
0602	アルツハイマー病	29,545,759	0.3%	71	2,511	0.5%	85	227	0.7%	100	130,158	18
0603	てんかん	72,231,685	0.6%	45	7,107	1.4%	55	709	2.1%	83	101,878	21
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	48,258,855	0.4%	62	871	0.2%	103	156	0.5%	106	309,352	6
0605	自律神経系の障害	1,779,973	0.0%	115	1,555	0.3%	90	197	0.6%	101	9,035	106
0606	その他の神経系の疾患	342,570,046	2.9%	9	75,099	14.4%	4	7,743	22.9%	12	44,243	45
VII. 眼及び付属器の疾患		507,616,162	4.3%		55,008	10.5%		12,389	36.6%		40,973	
0701	結膜炎	43,307,601	0.4%	64	23,481	4.5%	23	5,809	17.2%	16	7,455	111
0702	白内障	146,985,147	1.3%	28	22,220	4.3%	26	4,227	12.5%	27	34,773	54
0703	屈折及び調節の障害	51,048,854	0.4%	59	42,901	8.2%	7	10,251	30.3%	3	4,980	116
0704	その他の眼及び付属器の疾患	266,274,560	2.3%	11	39,974	7.7%	9	8,584	25.3%	8	31,020	60
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		63,725,711	0.5%		13,795	2.6%		3,723	11.0%		17,117	
0801	外耳炎	5,653,597	0.0%	108	4,957	1.0%	65	1,505	4.4%	59	3,757	121
0802	その他の外耳疾患	4,294,076	0.0%	110	2,147	0.4%	86	1,027	3.0%	73	4,181	119
0803	中耳炎	13,442,217	0.1%	89	3,323	0.6%	82	903	2.7%	76	14,886	93
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	8,076,703	0.1%	102	1,548	0.3%	92	435	1.3%	90	18,567	82
0805	メニエール病	12,489,871	0.1%	93	3,252	0.6%	83	738	2.2%	80	16,924	90
0806	その他の内耳疾患	8,319,758	0.1%	101	1,241	0.2%	98	375	1.1%	93	22,186	73
0807	その他の耳疾患	11,449,489	0.1%	95	3,918	0.8%	74	1,260	3.7%	64	9,087	105
IX. 循環器系の疾患		1,772,175,151	15.1%		165,085	31.6%		15,211	44.9%		116,506	
0901	高血圧性疾患	566,788,144	4.8%	2	136,121	26.1%	1	10,932	32.3%	2	51,847	36
0902	虚血性心疾患	305,108,903	2.6%	10	29,096	5.6%	17	3,792	11.2%	30	80,461	26
0903	その他の心疾患	464,763,677	4.0%	6	34,987	6.7%	11	5,939	17.5%	15	78,256	27
0904	くも膜下出血	25,111,618	0.2%	75	415	0.1%	109	107	0.3%	108	234,688	9
0905	脳内出血	75,646,601	0.6%	43	1,178	0.2%	100	374	1.1%	94	202,264	12
0906	脳梗塞	151,788,066	1.3%	25	14,619	2.8%	35	2,146	6.3%	45	70,731	30
0907	脳動脈硬化(症)	681,908	0.0%	116	132	0.0%	114	69	0.2%	114	9,883	104
0908	その他の脳血管疾患	51,038,743	0.4%	60	6,299	1.2%	59	1,742	5.1%	55	29,299	62
0909	動脈硬化(症)	29,366,850	0.3%	72	8,717	1.7%	48	2,378	7.0%	43	12,349	98
0911	低血圧(症)	2,568,851	0.0%	113	520	0.1%	106	93	0.3%	109	27,622	65
0912	その他の循環器系の疾患	99,311,790	0.8%	36	8,912	1.7%	46	2,091	6.2%	46	47,495	42
X. 呼吸器系の疾患		671,261,899	5.7%		92,702	17.8%		18,268	53.9%		36,745	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	8,830,690	0.1%	100	4,603	0.9%	67	1,842	5.4%	51	4,794	117
1002	急性鼻咽頭炎及び急性扁桃炎	24,579,345	0.2%	77	12,781	2.4%	39	4,653	13.7%	21	5,282	115
1003	その他の急性上気道感染症	59,799,919	0.5%	54	23,918	4.6%	22	7,966	23.5%	10	7,507	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	11,734,056,380	521,717	33,867

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	54,581,126	0.5%	58	3,981	0.8%	72	1,787	5.3%	54	30,543	61
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	41,824,299	0.4%	65	17,299	3.3%	30	6,133	18.1%	14	6,820	112
1006	アレルギー性鼻炎	94,076,690	0.8%	38	34,556	6.6%	14	7,955	23.5%	11	11,826	101
1007	慢性副鼻腔炎	19,153,162	0.2%	84	6,424	1.2%	58	1,585	4.7%	58	12,084	100
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	13,116,194	0.1%	90	5,495	1.1%	62	2,302	6.8%	44	5,698	113
1009	慢性閉塞性肺疾患	64,946,540	0.6%	51	9,312	1.8%	44	1,429	4.2%	60	45,449	44
1010	喘息	109,646,153	0.9%	33	21,033	4.0%	27	4,188	12.4%	28	26,181	68
1011	その他の呼吸器系の疾患	180,707,781	1.5%	19	16,595	3.2%	31	5,620	16.6%	17	32,154	59
X I . 消化器系の疾患		932,965,211	8.0%		140,247	26.9%		17,264	51.0%		54,041	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	63,618	0.0%	121	59	0.0%	119	17	0.1%	120	3,742	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	141,956	0.0%	120	75	0.0%	117	36	0.1%	117	3,943	120
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	98,891,190	0.8%	37	28,746	5.5%	19	4,253	12.6%	26	23,252	72
1105	胃炎及び十二指腸炎	147,375,302	1.3%	26	58,891	11.3%	6	9,882	29.2%	4	14,914	92
1106	痔核	15,950,550	0.1%	86	3,423	0.7%	79	885	2.6%	77	18,023	86
1107	アルコール性肝疾患	6,922,658	0.1%	104	1,191	0.2%	99	180	0.5%	102	38,459	49
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	11,224,883	0.1%	97	3,849	0.7%	75	574	1.7%	86	19,556	79
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	12,228,853	0.1%	94	1,956	0.4%	87	345	1.0%	96	35,446	53
1110	その他の肝疾患	35,876,798	0.3%	67	11,264	2.2%	41	3,126	9.2%	36	11,477	102
1111	胆石症及び胆のう炎	67,344,407	0.6%	49	4,117	0.8%	70	1,257	3.7%	65	53,576	35
1112	膵疾患	19,865,380	0.2%	83	3,519	0.7%	77	982	2.9%	74	20,230	75
1113	その他の消化器系の疾患	517,079,616	4.4%	3	85,682	16.4%	3	11,078	32.7%	1	46,676	43
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		244,475,469	2.1%		56,855	10.9%		11,049	32.6%		22,126	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	17,197,398	0.1%	85	5,256	1.0%	64	1,952	5.8%	50	8,810	107
1202	皮膚炎及び湿疹	122,032,614	1.0%	32	40,000	7.7%	8	8,144	24.0%	9	14,984	91
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	105,245,457	0.9%	34	28,971	5.6%	18	6,192	18.3%	13	16,997	89
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		1,133,049,174	9.7%		123,027	23.6%		14,333	42.3%		79,052	
1301	炎症性多発性関節障害	206,017,299	1.8%	16	19,131	3.7%	29	2,637	7.8%	39	78,126	28
1302	関節症	212,582,805	1.8%	15	34,560	6.6%	13	4,416	13.0%	25	48,139	41
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	162,549,851	1.4%	22	34,793	6.7%	12	4,558	13.5%	24	35,663	52
1304	椎間板障害	30,292,576	0.3%	70	6,151	1.2%	60	1,208	3.6%	69	25,077	70
1305	頸腕症候群	14,652,802	0.1%	87	9,299	1.8%	45	1,420	4.2%	61	10,319	103
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	59,159,726	0.5%	55	27,814	5.3%	21	4,616	13.6%	22	12,816	96
1307	その他の脊柱障害	44,559,907	0.4%	63	6,976	1.3%	57	1,329	3.9%	63	33,529	56
1308	肩の傷害<損傷>	25,194,350	0.2%	74	11,060	2.1%	43	1,709	5.0%	57	14,742	94
1309	骨の密度及び構造の障害	180,624,105	1.5%	20	31,638	6.1%	15	3,532	10.4%	32	51,139	38
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	197,415,753	1.7%	18	28,490	5.5%	20	5,346	15.8%	18	36,928	51

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	11,734,056,380	521,717	33,867

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	739,790,865	6.3%		43,165	8.3%		7,581	22.4%		97,585	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	31,635,456	0.3%	69	5,372	1.0%	63	1,152	3.4%	70	27,461	66
1402 腎不全	489,793,731	4.2%	5	8,072	1.5%	51	713	2.1%	82	686,948	1
1403 尿路結石症	22,445,780	0.2%	81	4,562	0.9%	68	1,221	3.6%	68	18,383	84
1404 その他の腎尿路系の疾患	70,433,466	0.6%	47	15,494	3.0%	34	3,497	10.3%	33	20,141	77
1405 前立腺肥大(症)	72,078,480	0.6%	46	11,855	2.3%	40	1,409	4.2%	62	51,156	37
1406 その他の男性生殖器系の疾患	5,296,384	0.0%	109	1,893	0.4%	89	418	1.2%	92	12,671	97
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	13,107,521	0.1%	91	3,349	0.6%	81	738	2.2%	80	17,761	88
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	35,000,047	0.3%	68	4,610	0.9%	66	1,954	5.8%	49	17,912	87
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	16,773,660	0.1%		542	0.1%		213	0.6%		78,750	
1501 流産	2,136,946	0.0%	114	125	0.0%	115	76	0.2%	113	28,118	64
1502 妊娠高血圧症候群	166,753	0.0%	119	7	0.0%	121	5	0.0%	121	33,351	57
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	14,469,961	0.1%	88	436	0.1%	108	167	0.5%	103	86,646	24
XVI. 周産期に発生した病態	15,211,811	0.1%		121	0.0%		58	0.2%		262,273	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	9,310,267	0.1%	99	72	0.0%	118	24	0.1%	119	387,928	4
1602 その他の周産期に発生した病態	5,901,544	0.1%	106	59	0.0%	119	43	0.1%	116	137,245	15
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	29,109,253	0.2%		1,575	0.3%		565	1.7%		51,521	
1701 心臓の先天奇形	8,051,925	0.1%	103	199	0.0%	112	82	0.2%	112	98,194	22
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	21,057,328	0.2%	82	1,392	0.3%	95	492	1.5%	88	42,799	46
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,192,994	2.0%		39,492	7.6%		9,115	26.9%		25,474	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	232,192,994	2.0%	14	39,492	7.6%	10	9,115	26.9%	7	25,474	69
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	413,016,610	3.5%		24,062	4.6%		6,693	19.8%		61,709	
1901 骨折	236,386,339	2.0%	13	8,078	1.5%	50	1,789	5.3%	53	132,133	17
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	23,495,395	0.2%	79	604	0.1%	105	352	1.0%	95	66,748	31
1903 熱傷及び腐食	3,066,081	0.0%	111	414	0.1%	110	166	0.5%	104	18,470	83
1904 中毒	2,772,422	0.0%	112	1,257	0.2%	97	602	1.8%	84	4,605	118
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	147,296,373	1.3%	27	15,887	3.0%	32	5,126	15.1%	19	28,735	63
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	50,457,823	0.4%		14,457	2.8%		2,548	7.5%		19,803	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	469,042	0.0%	118	100	0.0%	116	34	0.1%	118	13,795	95
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	4,827	0.0%	123	6	0.0%	122	5	0.0%	121	965	123
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	



※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	11,734,056,380	521,717	33,867

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	24,743	0.0%	122	5	0.0%	123	1	0.0%	123	24,743	71
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	49,959,211	0.4%	61	14,350	2.8%	36	2,519	7.4%	40	19,833	78
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		6,290,138	0.1%		3,494	0.7%		827	2.4%		7,606	
9999	分類外	6,290,138	0.1%	105	3,494	0.7%	78	827	2.4%	78	7,606	109

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。  
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

### 3. 地区分析

#### (1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

#### 【旧川西町地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	146,210,689	3.6%	11	15,395	12	3,888	8	37,606	15
II. 新生物<腫瘍>	590,129,531	14.6%	2	16,578	10	3,912	7	150,851	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	46,414,493	1.2%	15	4,296	17	1,089	16	42,621	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	402,132,741	10.0%	3	60,315	1	5,606	3	71,733	9
V. 精神及び行動の障害	242,408,241	6.0%	7	17,392	9	1,577	14	153,715	2
VI. 神経系の疾患	207,347,337	5.1%	9	30,019	6	2,853	11	72,677	8
VII. 眼及び付属器の疾患	171,527,172	4.3%	10	18,422	8	4,044	6	42,415	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	23,134,026	0.6%	16	5,067	15	1,266	15	18,273	20
IX. 循環器系の疾患	599,571,037	14.9%	1	60,313	2	5,258	4	114,030	4
X. 呼吸器系の疾患	236,304,392	5.9%	8	34,012	5	6,415	1	36,836	16
X I. 消化器系の疾患 ※	332,381,776	8.2%	5	51,649	3	6,092	2	54,560	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	90,855,330	2.3%	14	20,036	7	3,844	9	23,636	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	388,617,622	9.6%	4	42,357	4	4,918	5	79,019	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	294,197,323	7.3%	6	15,547	11	2,646	12	111,186	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	7,094,208	0.2%	20	211	20	81	20	87,583	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,555,801	0.2%	19	54	21	22	21	388,900	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,660,584	0.3%	18	625	19	184	19	57,938	10
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	92,306,955	2.3%	13	14,836	13	3,228	10	28,596	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	125,883,704	3.1%	12	7,626	14	2,251	13	55,923	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	14,121,450	0.4%	17	4,514	16	771	17	18,316	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,153,878	0.1%	21	1,039	18	245	18	8,791	21
合計	4,032,008,290			184,173		11,901		338,796	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

【旧多田村地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	180,861,444	3.8%	12	18,829	9	4,559	8	39,671	15
II. 新生物<腫瘍>	710,800,066	15.0%	2	18,390	11	4,632	7	153,454	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	70,558,315	1.5%	15	4,510	17	1,193	16	59,144	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	490,674,762	10.4%	3	69,447	1	6,589	3	74,469	8
V. 精神及び行動の障害	288,133,355	6.1%	6	18,587	10	1,693	14	170,191	1
VI. 神経系の疾患	231,734,718	4.9%	9	35,389	6	3,526	11	65,722	9
VII. 眼及び付属器の疾患	224,656,207	4.7%	10	24,856	7	5,341	6	42,063	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	24,412,770	0.5%	16	5,677	16	1,516	15	16,103	20
IX. 循環器系の疾患	749,769,848	15.8%	1	68,203	2	6,321	4	118,616	4
X. 呼吸器系の疾患	252,125,472	5.3%	8	38,179	5	7,538	1	33,447	16
X I. 消化器系の疾患 ※	355,374,358	7.5%	5	56,481	3	7,068	2	50,279	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	98,446,810	2.1%	13	23,425	8	4,554	9	21,618	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	471,910,181	10.0%	4	52,288	4	6,058	5	77,899	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	275,966,841	5.8%	7	16,707	12	2,979	12	92,637	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,335,800	0.1%	19	194	20	74	20	58,592	12
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,596,511	0.1%	20	36	21	18	21	144,251	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	16,062,147	0.3%	18	530	19	203	19	79,124	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79,798,902	1.7%	14	15,353	13	3,731	10	21,388	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	183,861,210	3.9%	11	11,046	14	2,946	13	62,410	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,120,210	0.5%	17	6,624	15	1,110	17	21,730	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,569,643	0.1%	21	1,388	18	336	18	7,648	21
合計	4,738,769,570			218,577		13,707		345,719	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

【旧東谷村地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	93,046,454	4.2%	11	9,429	10	2,230	8	41,725	13
II. 新生物<腫瘍>	320,997,700	14.6%	2	9,108	11	2,286	7	140,419	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,787,919	1.3%	15	2,508	17	603	16	47,741	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	208,215,641	9.5%	4	32,040	2	3,269	3	63,694	8
V. 精神及び行動の障害	133,731,964	6.1%	6	8,777	12	865	14	154,603	2
VI. 神経系の疾患	106,769,633	4.9%	9	16,234	6	1,690	11	63,177	9
VII. 眼及び付属器の疾患	101,779,823	4.6%	10	10,409	8	2,599	6	39,161	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	13,681,770	0.6%	16	2,615	16	805	15	16,996	18
IX. 循環器系の疾患	345,315,914	15.8%	1	32,507	1	3,136	4	110,113	5
X. 呼吸器系の疾患	122,321,837	5.6%	8	16,862	5	3,541	1	34,544	15
X I. 消化器系の疾患 ※	195,449,901	8.9%	5	27,612	3	3,456	2	56,554	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	43,704,440	2.0%	13	11,180	7	2,158	9	20,252	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	217,494,563	9.9%	3	24,954	4	2,880	5	75,519	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	133,420,001	6.1%	7	9,598	9	1,644	12	81,156	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	4,590,136	0.2%	18	72	20	30	20	153,005	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,049,623	0.2%	19	28	21	15	21	269,975	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,938,867	0.1%	20	377	19	156	19	12,429	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	36,533,481	1.7%	14	7,465	13	1,754	10	20,829	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	70,372,000	3.2%	12	4,539	14	1,237	13	56,889	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,033,037	0.4%	17	2,935	15	588	17	13,662	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,450,146	0.1%	21	1,009	18	221	18	6,562	21
合計	2,191,684,850			103,882		6,734		325,466	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	23,485,812	3.0%	12	1,669	11	461	7	50,945	14
II. 新生物<腫瘍>	204,336,154	26.5%	1	1,937	9	381	10	536,315	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,690,536	1.8%	13	610	15	155	15	88,326	8
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	34,347,924	4.5%	9	4,048	3	553	3	62,112	11
V. 精神及び行動の障害	79,673,318	10.3%	2	2,085	8	258	14	308,811	2
VI. 神経系の疾患	51,455,702	6.7%	6	3,015	6	370	11	139,069	4
VII. 眼及び付属器の疾患	9,652,960	1.3%	15	1,321	12	405	8	23,834	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,497,145	0.3%	17	436	16	136	16	18,361	19
IX. 循環器系の疾患	77,518,352	10.0%	3	4,062	2	496	4	156,287	3
X. 呼吸器系の疾患	60,510,198	7.8%	4	3,649	4	774	1	78,179	9
X I. 消化器系の疾患 ※	49,759,176	6.4%	7	4,505	1	648	2	76,789	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,468,889	1.5%	14	2,214	7	493	5	23,263	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	55,026,808	7.1%	5	3,428	5	477	6	115,360	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	36,206,700	4.7%	8	1,313	13	312	12	116,047	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	753,516	0.1%	18	65	18	28	18	26,911	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,876	0.0%	21	3	21	3	21	3,292	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	447,655	0.1%	19	43	20	22	20	20,348	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,553,656	3.1%	11	1,838	10	402	9	58,591	12
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,899,696	4.3%	10	851	14	259	13	127,026	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,183,126	0.5%	16	384	17	79	17	52,951	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	116,471	0.0%	20	58	19	25	19	4,659	20
合計	771,593,670			15,085		1,525		505,963	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## (2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

### 【旧川西町地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	214,434,253	5.3%	1,799
2	1402 腎不全	209,878,472	5.2%	247
3	0901 高血圧性疾患	203,482,568	5.0%	3,785
4	0402 糖尿病	196,099,146	4.9%	3,319
5	1113 その他の消化器系の疾患	184,786,901	4.6%	3,734
6	0903 その他の心疾患	156,029,226	3.9%	2,157
7	0403 脂質異常症	134,224,969	3.3%	3,306
8	0606 その他の神経系の疾患	126,589,421	3.1%	2,605
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	115,981,879	2.9%	337
10	0902 虚血性心疾患	95,451,752	2.4%	1,243

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【旧多田村地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	239,530,599	5.1%	4,596
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	232,274,943	4.9%	2,056
3	0903 その他の心疾患	212,945,106	4.5%	2,298
4	0402 糖尿病	199,119,310	4.2%	3,626
5	1113 その他の消化器系の疾患	193,180,398	4.1%	4,583
6	0403 脂質異常症	185,898,963	3.9%	4,134
7	1402 腎不全	174,032,397	3.7%	250
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	157,250,118	3.3%	489
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	138,624,635	2.9%	364
10	0902 虚血性心疾患	132,123,860	2.8%	1,568

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

### 【旧東谷村地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	114,271,390	5.2%	990
2	0901 高血圧性疾患	111,742,674	5.1%	2,224
3	1113 その他の消化器系の疾患	108,576,976	5.0%	2,317
4	0402 糖尿病	95,091,453	4.3%	1,937
5	0403 脂質異常症	83,021,195	3.8%	2,004
6	1402 腎不全	82,786,120	3.8%	174
7	0903 その他の心疾患	78,287,874	3.6%	1,264
8	0902 虚血性心疾患	68,873,909	3.1%	856
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	66,883,682	3.1%	162
10	0606 その他の神経系の疾患	61,017,727	2.8%	1,567

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	109,884,735	14.2%	165
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	44,025,289	5.7%	75
3	1113 その他の消化器系の疾患	30,535,341	4.0%	444
4	1011 その他の呼吸器系の疾患	27,779,386	3.6%	250
5	0606 その他の神経系の疾患	27,585,923	3.6%	323
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,553,656	3.1%	402
7	1402 腎不全	23,096,742	3.0%	42
8	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	22,612,184	2.9%	186
9	0905 脳内出血	20,413,966	2.6%	30
10	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	20,038,788	2.6%	57

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

### 【旧川西町地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	203,482,568	3,785	31.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	184,786,901	3,734	31.4%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	54,402,459	3,578	30.1%
4	0703 屈折及び調節の障害	15,758,193	3,323	27.9%
5	0402 糖尿病	196,099,146	3,319	27.9%
6	0403 脂質異常症	134,224,969	3,306	27.8%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	92,306,955	3,228	27.1%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	41,982,862	2,816	23.7%
9	1003 その他の急性上気道感染症	24,589,561	2,809	23.6%
10	1006 アレルギー性鼻炎	32,476,527	2,801	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【旧多田村地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	239,530,599	4,596	33.5%
2	1113 その他の消化器系の疾患	193,180,398	4,583	33.4%
3	0703 屈折及び調節の障害	24,441,973	4,436	32.4%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	61,144,010	4,150	30.3%
5	0403 脂質異常症	185,898,963	4,134	30.2%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	118,039,649	3,833	28.0%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79,798,902	3,731	27.2%
8	0402 糖尿病	199,119,310	3,626	26.5%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	54,336,903	3,393	24.8%
10	1003 その他の急性上気道感染症	22,383,506	3,254	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



旧川西町地区	旧多田村地区	旧東谷村地区	その他
--------	--------	--------	-----

### 【旧東谷村地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	108,576,976	2,317	34.4%
2	0901 高血圧性疾患	111,742,674	2,224	33.0%
3	0703 屈折及び調節の障害	9,612,087	2,163	32.1%
4	0403 脂質異常症	83,021,195	2,004	29.8%
5	0402 糖尿病	95,091,453	1,937	28.8%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	54,351,589	1,846	27.4%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	28,046,109	1,845	27.4%
8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	36,533,481	1,754	26.0%
9	1006 アレルギー性鼻炎	19,276,764	1,651	24.5%
10	1003 その他の急性上気道感染症	10,358,741	1,602	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	30,535,341	444	29.1%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,553,656	402	26.4%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	5,093,675	354	23.2%
4	0703 屈折及び調節の障害	1,236,601	329	21.6%
5	0901 高血圧性疾患	12,032,303	327	21.4%
6	0606 その他の神経系の疾患	27,585,923	323	21.2%
7	0402 糖尿病	16,976,952	312	20.5%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,782,724	309	20.3%
9	1003 その他の急性上気道感染症	2,468,111	301	19.7%
10	1006 アレルギー性鼻炎	3,436,460	292	19.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

## 4. 年度別 特定健康診査結果分析

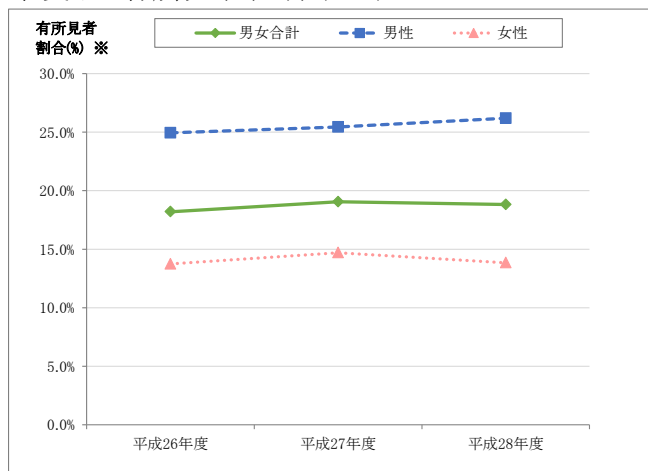
### (1) 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

#### 年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	1,736	1,850	1,682
	有所見者割合(%) ※	18.2%	19.1%	18.8%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	947	1,001	942
	有所見者割合(%) ※	24.9%	25.4%	26.2%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	789	849	740
	有所見者割合(%) ※	13.7%	14.7%	13.8%

#### 年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

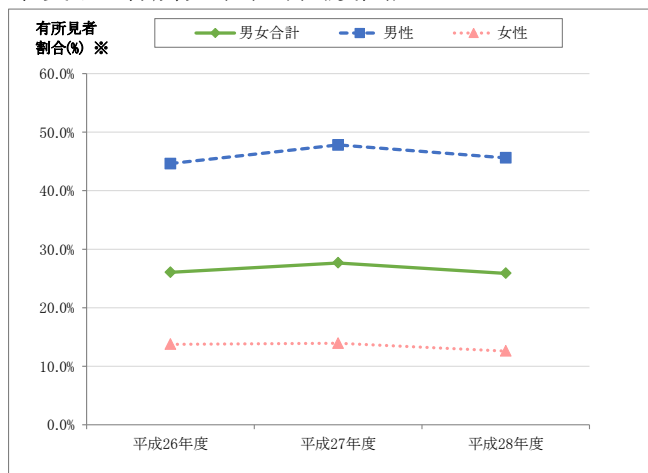
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	2,484	2,685	2,313
	有所見者割合(%) ※	26.0%	27.7%	25.9%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	1,694	1,881	1,640
	有所見者割合(%) ※	44.6%	47.8%	45.6%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	790	804	673
	有所見者割合(%) ※	13.8%	13.9%	12.6%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

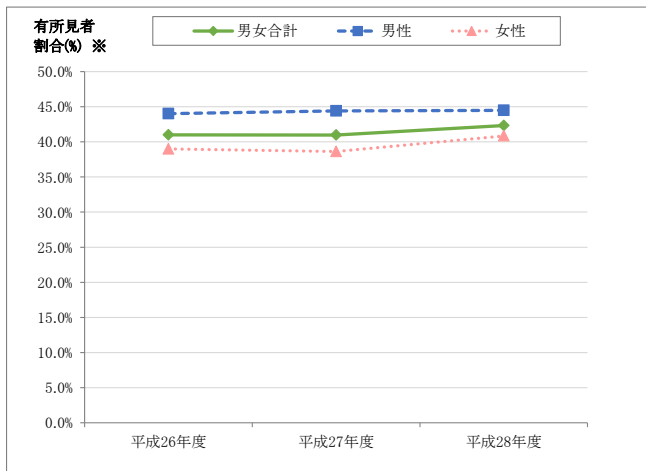
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	3,910	3,978	3,783
	有所見者割合(%) ※	41.0%	41.0%	42.3%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	1,671	1,747	1,600
	有所見者割合(%) ※	44.0%	44.4%	44.5%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	2,239	2,231	2,183
	有所見者割合(%) ※	39.0%	38.6%	40.8%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

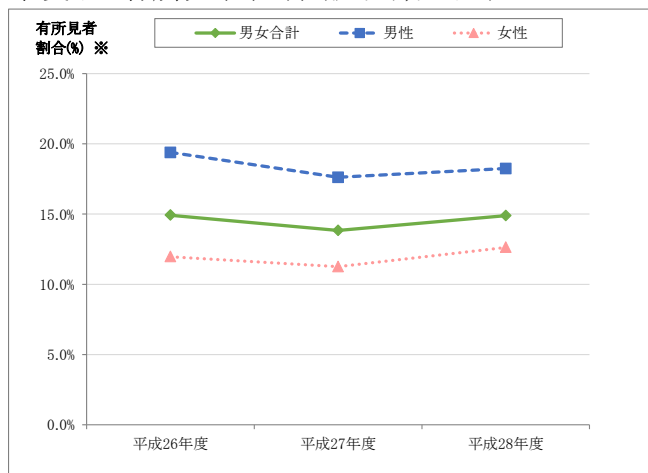
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,539	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	1,423	1,343	1,331
	有所見者割合(%) ※	14.9%	13.8%	14.9%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	736	693	656
	有所見者割合(%) ※	19.4%	17.6%	18.2%
女性	対象者数(人) ※	5,743	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	687	650	675
	有所見者割合(%) ※	12.0%	11.3%	12.6%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

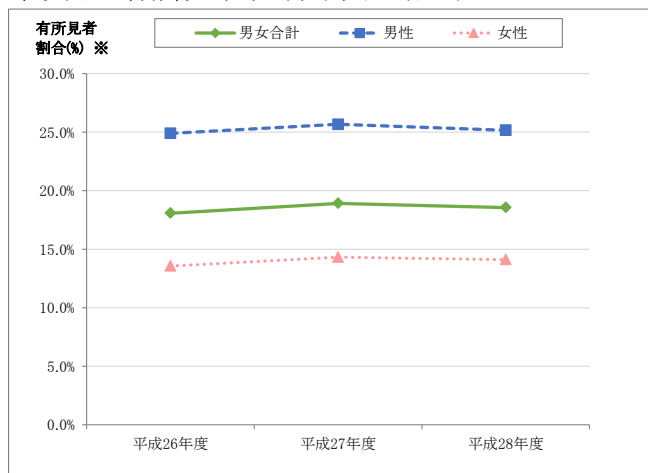
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	1,724	1,837	1,659
	有所見者割合(%) ※	18.1%	18.9%	18.6%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	945	1,010	905
	有所見者割合(%) ※	24.9%	25.7%	25.2%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	779	827	754
	有所見者割合(%) ※	13.6%	14.3%	14.1%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

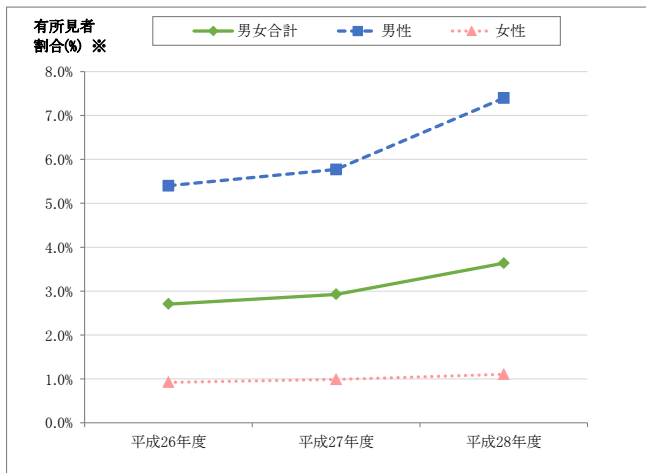
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	258	284	325
	有所見者割合(%) ※	2.7%	2.9%	3.6%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	205	227	266
	有所見者割合(%) ※	5.4%	5.8%	7.4%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	53	57	59
	有所見者割合(%) ※	0.9%	1.0%	1.1%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

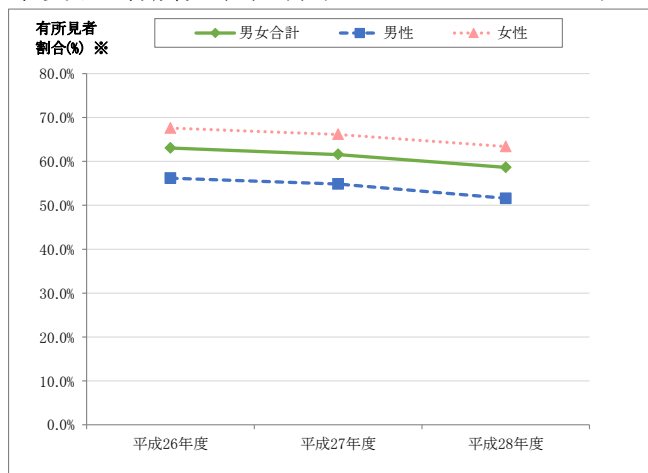
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	有所見者数(人) ※	6,015	5,978	5,242
	有所見者割合(%) ※	63.1%	61.6%	58.6%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	2,133	2,158	1,855
	有所見者割合(%) ※	56.2%	54.9%	51.6%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	有所見者数(人) ※	3,882	3,820	3,387
	有所見者割合(%) ※	67.6%	66.1%	63.4%

## 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

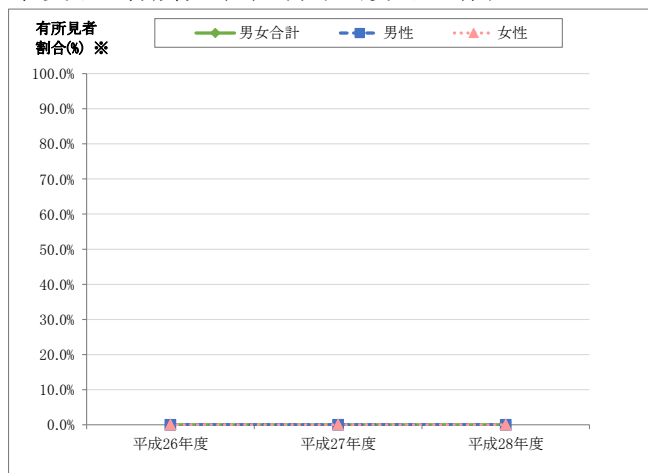
LDLコレステロール:120mg/dl以上



## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	0	2	1
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%
男性	対象者数(人) ※	0	0	0
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%
女性	対象者数(人) ※	0	2	1
	有所見者数(人) ※	0	0	0
	有所見者割合(%) ※	0.0%	0.0%	0.0%

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

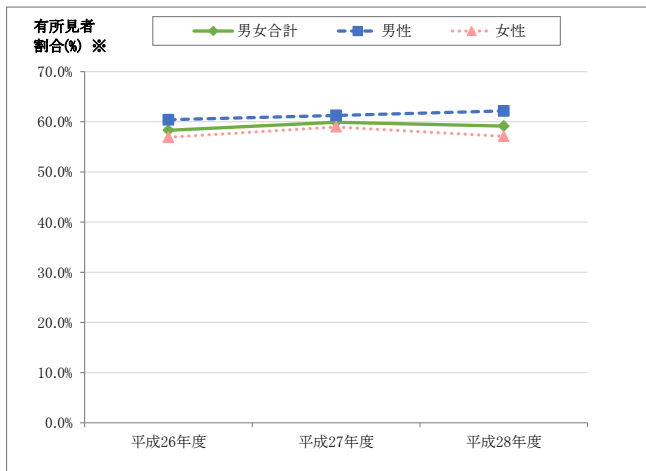
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	9,540	9,708	8,940
	有所見者数(人) ※	5,562	5,815	5,286
	有所見者割合(%) ※	58.3%	59.9%	59.1%
男性	対象者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	有所見者数(人) ※	2,293	2,410	2,235
	有所見者割合(%) ※	60.4%	61.3%	62.2%
女性	対象者数(人) ※	5,744	5,774	5,344
	有所見者数(人) ※	3,269	3,405	3,051
	有所見者割合(%) ※	56.9%	59.0%	57.1%

## 年度別 有所見者割合(HbA1c(NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## (2) 質問別回答状況

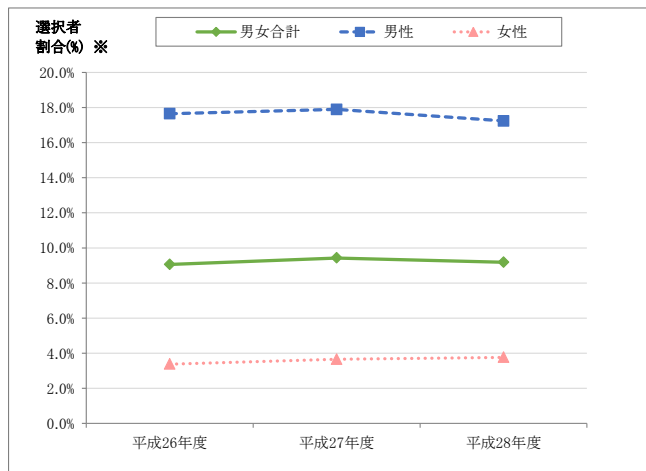
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	9,540	9,710	8,941
	選択者数(人) ※	864	915	821
	選択者割合(%) ※	9.1%	9.4%	9.2%
男性	質問回答者数(人) ※	3,796	3,934	3,596
	選択者数(人) ※	670	704	620
	選択者割合(%) ※	17.7%	17.9%	17.2%
女性	質問回答者数(人) ※	5,744	5,776	5,345
	選択者数(人) ※	194	211	201
	選択者割合(%) ※	3.4%	3.7%	3.8%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

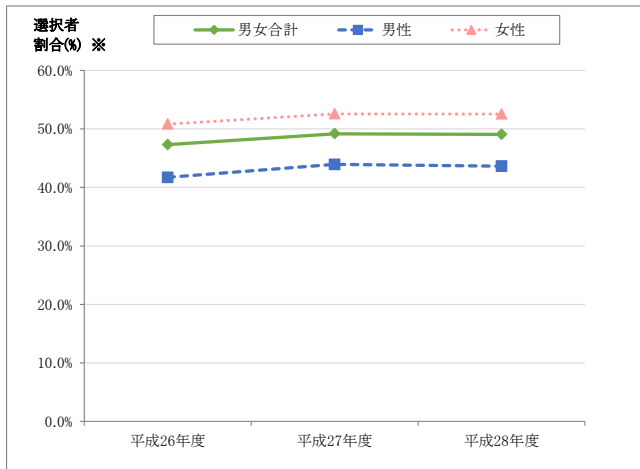
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,229	8,343	7,598
	選択者数(人) ※	3,893	4,103	3,728
	選択者割合(%) ※	47.3%	49.2%	49.1%
男性	質問回答者数(人) ※	3,180	3,286	2,974
	選択者数(人) ※	1,327	1,444	1,298
	選択者割合(%) ※	41.7%	43.9%	43.6%
女性	質問回答者数(人) ※	5,049	5,057	4,624
	選択者数(人) ※	2,566	2,659	2,430
	選択者割合(%) ※	50.8%	52.6%	52.6%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

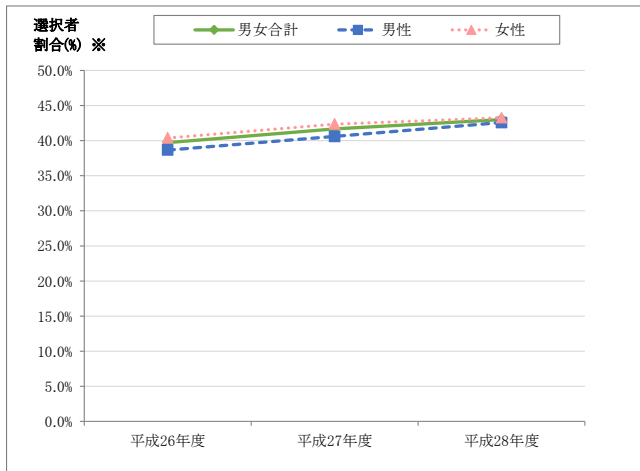
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,229	8,336	7,595
	選択者数(人) ※	3,268	3,473	3,265
	選択者割合(%) ※	39.7%	41.7%	43.0%
男性	質問回答者数(人) ※	3,179	3,286	2,971
	選択者数(人) ※	1,229	1,334	1,265
	選択者割合(%) ※	38.7%	40.6%	42.6%
女性	質問回答者数(人) ※	5,050	5,050	4,624
	選択者数(人) ※	2,039	2,139	2,000
	選択者割合(%) ※	40.4%	42.4%	43.3%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

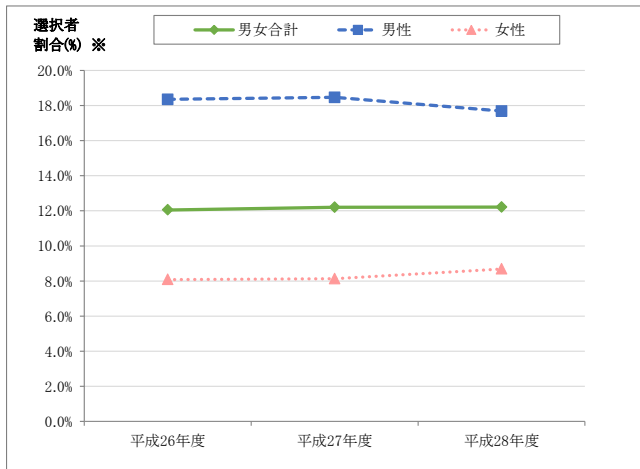
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,225	8,343	7,601
	選択者数(人) ※	991	1,018	928
	選択者割合(%) ※	12.0%	12.2%	12.2%
男性	質問回答者数(人) ※	3,177	3,287	2,974
	選択者数(人) ※	583	607	526
	選択者割合(%) ※	18.4%	18.5%	17.7%
女性	質問回答者数(人) ※	5,048	5,056	4,627
	選択者数(人) ※	408	411	402
	選択者割合(%) ※	8.1%	8.1%	8.7%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

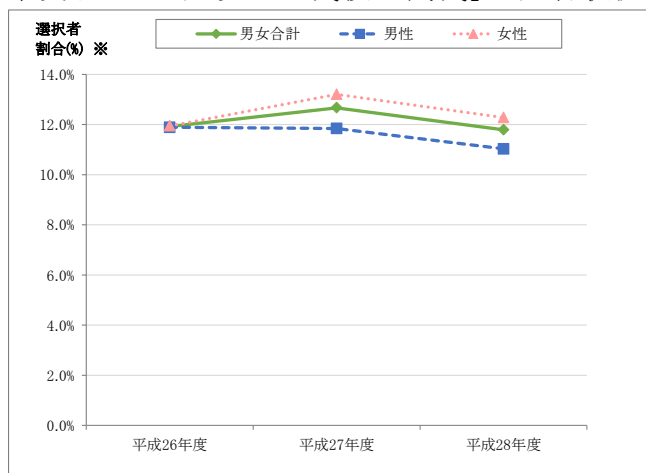
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	8,226	8,335	7,599
	選択者数(人) ※	981	1,056	896
	選択者割合(%) ※	11.9%	12.7%	11.8%
男性	質問回答者数(人) ※	3,179	3,284	2,973
	選択者数(人) ※	378	389	328
	選択者割合(%) ※	11.9%	11.8%	11.0%
女性	質問回答者数(人) ※	5,047	5,051	4,626
	選択者数(人) ※	603	667	568
	選択者割合(%) ※	11.9%	13.2%	12.3%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

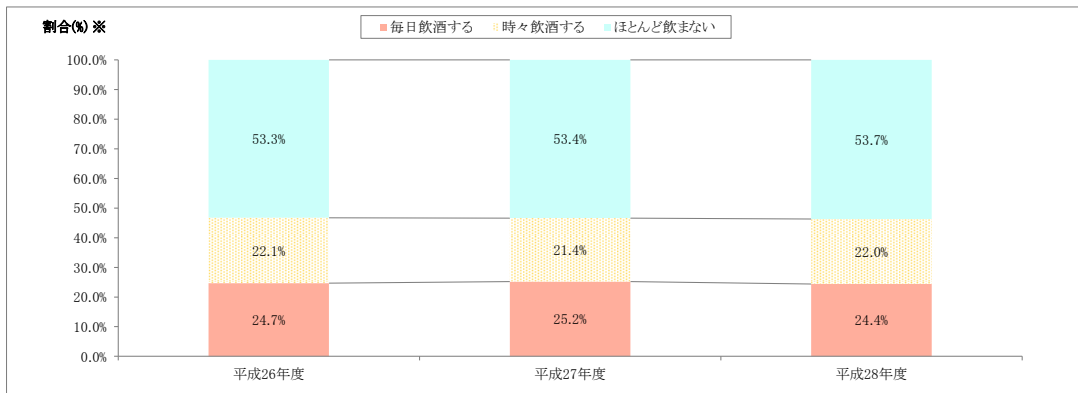
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,224	2,030	24.7%	1,814	22.1%	4,380	53.3%
平成27年度	8,325	2,099	25.2%	1,784	21.4%	4,442	53.4%
平成28年度	7,580	1,848	24.4%	1,664	22.0%	4,068	53.7%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

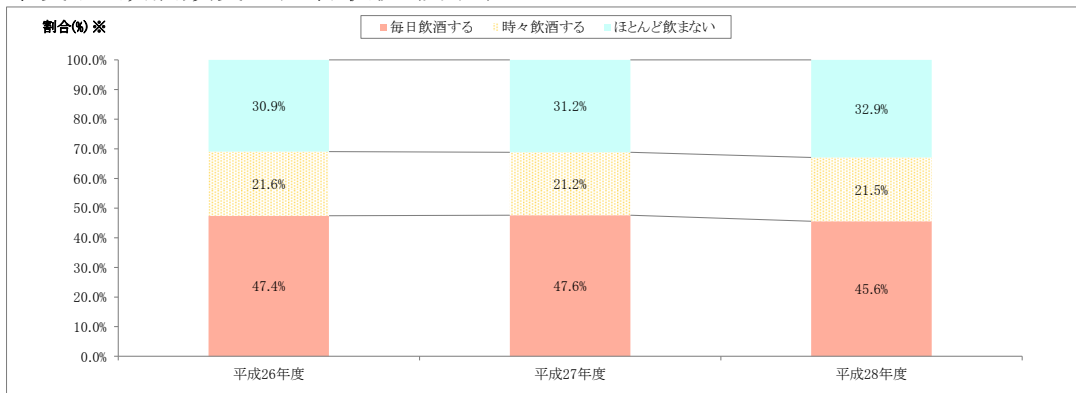
飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。



## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,174	1,505	47.4%	687	21.6%	982	30.9%
平成27年度	3,284	1,563	47.6%	697	21.2%	1,024	31.2%
平成28年度	2,968	1,352	45.6%	639	21.5%	977	32.9%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

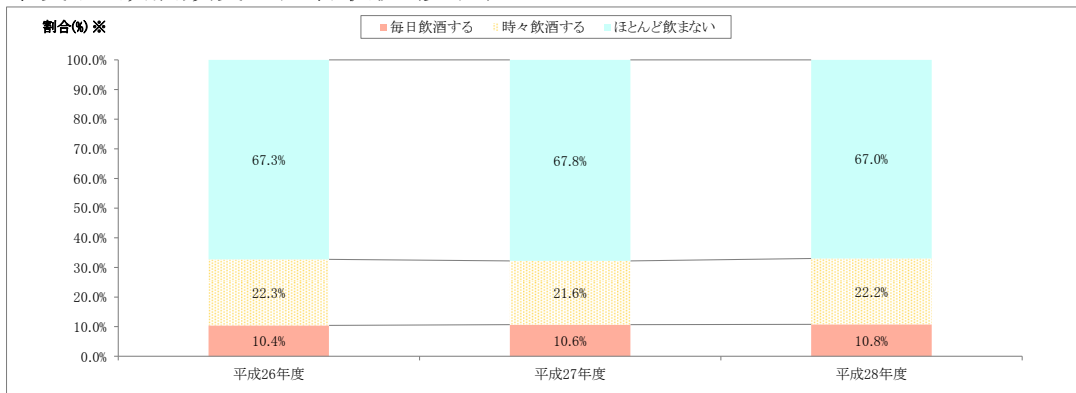
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	5,050	525	10.4%	1,127	22.3%	3,398	67.3%
平成27年度	5,041	536	10.6%	1,087	21.6%	3,418	67.8%
平成28年度	4,612	496	10.8%	1,025	22.2%	3,091	67.0%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

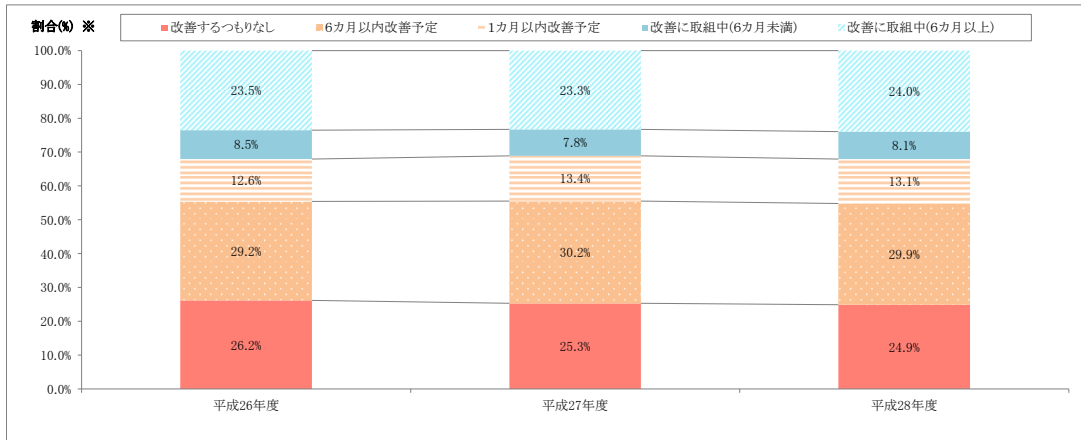
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6か月以内改善予定		1か月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,132	2,127	26.2%	2,377	29.2%	1,022	12.6%
平成27年度	8,242	2,084	25.3%	2,490	30.2%	1,104	13.4%
平成28年度	7,527	1,873	24.9%	2,252	29.9%	988	13.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6か月未満)		改善に取組中(6か月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	8,132	694	8.5%	1,912	23.5%
平成27年度	8,242	644	7.8%	1,920	23.3%
平成28年度	7,527	611	8.1%	1,803	24.0%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

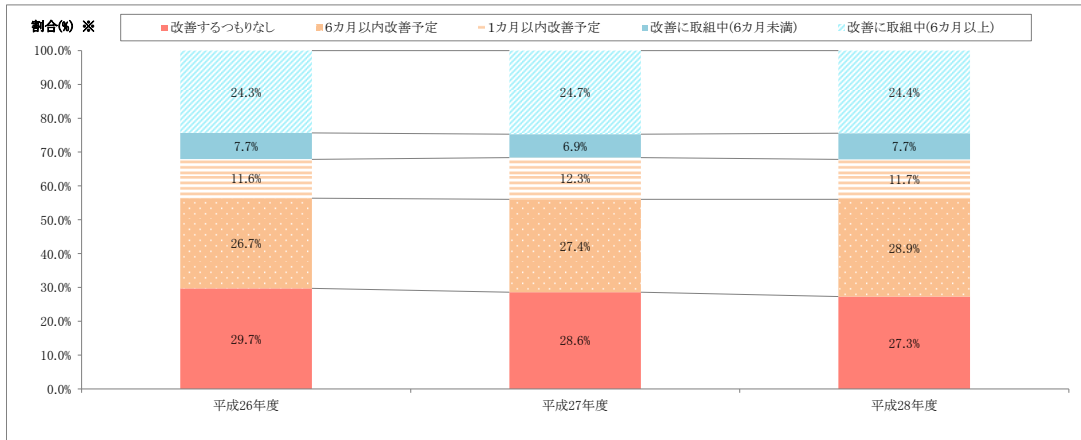
## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,148	936	29.7%	839	26.7%	364	11.6%
平成27年度	3,252	930	28.6%	892	27.4%	401	12.3%
平成28年度	2,949	805	27.3%	851	28.9%	345	11.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,148	243	7.7%	766	24.3%
平成27年度	3,252	225	6.9%	804	24.7%
平成28年度	2,949	228	7.7%	720	24.4%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

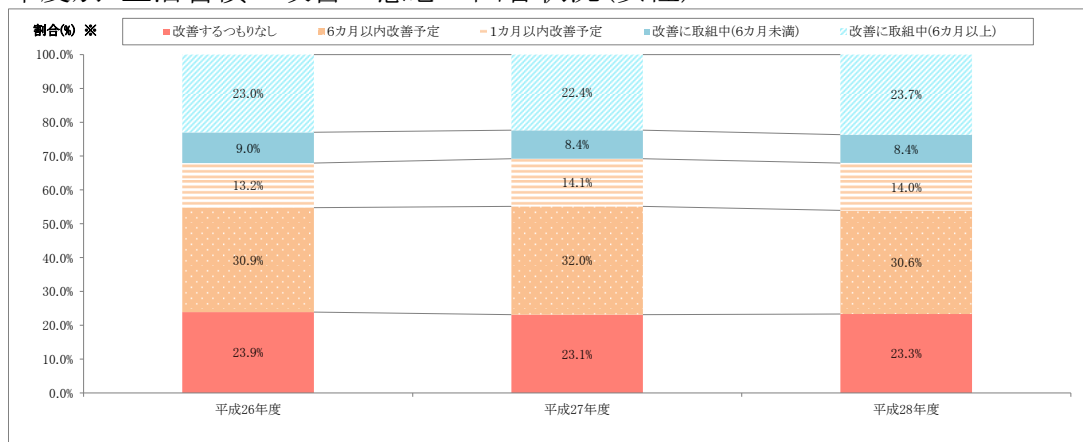
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,984	1,191	23.9%	1,538	30.9%	658	13.2%
平成27年度	4,990	1,154	23.1%	1,598	32.0%	703	14.1%
平成28年度	4,578	1,068	23.3%	1,401	30.6%	643	14.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,984	451	9.0%	1,146	23.0%
平成27年度	4,990	419	8.4%	1,116	22.4%
平成28年度	4,578	383	8.4%	1,083	23.7%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

# 5. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 <sup>①</sup> の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全



コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 嚙形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		



川西市  
第2期データヘルス計画書  
第3期特定健康診査等実施計画  
平成30年3月

発行 川西市 健康福祉部 長寿・保険室 国民健康保険課  
〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号  
TEL : 072-740-2006  
FAX : 072-740-1176  
E-mail : kawa0025@city.kawanishi.lg.jp